
 資 料

国連世界人口推計2012年版の概要

別府 志海・佐々井 司¹⁾

国際連合経済社会局人口部 (United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division : 以下, 国連人口部) は2013年 6 月13日, 「世界人口推計2012年版」(World Population Prospects: The 2012 Revision) を発表した²⁾. 今回の推計は1951年以来通算23回目にあたる³⁾. 1950年から現在(2010年)までの実績に基づく推計値と諸仮定に基づく将来の推計値について, 男女別・年齢別人口ならびに, 推計に係る出生, 死亡などの人口学的指標が公表されている. 今回の推計の主な特徴は, 2010年推計で用いられた出生仮定の手法等が精緻化されていること, 死亡仮定設定に際して新たな確率モデルと年齢別死亡パターン等が適用されていることである.

本報告では, 人口総数の推移と人口増加率, 出生率, 死亡率(寿命), 国際人口移動の動向, ならびに年齢構造の変化に関する概説や, 今回の国連推計(2012年版)と過去の推計結果との比較を行った. さらには, 出生率や平均寿命等の仮定値を用いた人口学的分析, ならびに国立社会保障・人口問題研究所が公表した平成24年 1 月推計⁴⁾との比較などを通して, 国連が世界人口の潮流の変化をどのように評価し, その結果をどのような形で将来人口推計に反映してきたのかについて考察を行った.

I. 国連世界人口推計2012年版の概要

1. 国連2012年推計の方法

今回の国連推計(2012年版)の基準となる人口は2010年 7 月 1 日現在の世界各国の推計値である(United Nations 2013). ただし, 対象となる230強の国・地域すべてにおいて推計に必要なデータが整備されているわけではないことから, 利用可能な既存データに基づいて, 国連人口部が独自に各国の基準人口(男女年齢 5 歳階級別)の推計を行っている. そして, これを基点とし, コーホート要因法によりそれ以降の将来人口を 5 年間隔で推計

1) 福井県立大学地域経済研究所 教授.

2) 国連人口部のインターネット・ホームページ (<http://esa.un.org/unpd/wpp/index.htm>) を参照のこと.

3) 1990年以降は 2 年ごとに推計結果が公表されており, 前回推計は2010年版(2011年発表)である. 過去の国連人口推計についての概要は, 下記の『人口問題研究』等で報告されている.

1968年推計(山口 1970), 1973年推計(伊藤 1976), 1982年推計(山口 1984), 1984年推計(伊藤 1986), 1988年推計(渡邊 1989), 1990年推計(国立社会保障・人口問題研究所 1990, 渡邊・石川・坂東 1991), 1992年推計(石川・坂東・中川), 1994年推計(石川・佐々井 1995), 2004年推計(佐藤・石川 2005), 2006年推計(佐藤・石川 2007), 2008年推計(佐藤・石川・別府 2009), 2010年推計(石川・佐々井・別府).

4) 国立社会保障・人口問題研究所が2012年 1 月に公表した『日本の将来推計人口』については, 国立社会保障・人口問題研究所(2012)を参照されたい.

している。将来における出生、死亡、国際人口移動の各人口変動要因に関する仮定値は、実績値を用いた分析結果を基に国別に設定している。なお出生率の仮定としては、合計特殊出生率の水準によって中位、低位、高位の3通りのほか、2005～10年の水準が一定、2010～15年に人口置換水準に到達するケース等が用いられている。一方、死亡率と国際人口移動の仮定値は原則一本であるが、死亡率では現状（2005～10年）のまま一定とするケースや、HIV/エイズの影響を考慮した仮定値、国際人口移動では封鎖人口を想定した仮定値が用いられている。したがって出生、死亡、国際人口移動のそれぞれの仮定値の組み合わせにより、最終的に8つの将来推計人口が公表されている。なお、前述のように推計は5年間隔で行われているが、これを補間することにより、毎年の数値も公表している。

この2012年推計では、最新の人口センサスや登録人口から得られる情報をもとに、基準年の人口や仮定設定の基になる過去および現在の人口動態統計も更新されている。推計期間は2010年推計と同じく2100年までである。

(1) 出生の仮定

出生仮定の設定方法は、2004年推計から定式化されている推計モデルをベースに改良が進められている。今回の推計では前回2010年推計で用いられた確率モデルを用いたうえで、各国・地域の最新情報を用いた詳細な分析結果を基に個別の状況を加味した仮定設定が行われている。

各国・地域の出生率は、現在から推計終点に至る過程において3つの段階を経て推移すると想定されている。出生率の3つの段階とは、第1期が「出生率が高く出生転換が始まる以前の状態」、第2期が「出生転換が起こっている状態」、第3期が「出生転換が完了しており、出生率は人口置換水準の前後で不安定な動向を示す状態」である。国・地域ごとに観測される過去の動向と現在の水準を基に現時点で3つの出生段階のどこに位置するのかが特定されたうえで、それぞれのグループにおいて今後生じ得る可能性の高い出生軌道の関数が確率的に求められている。最終的には、多数求められた軌道の中位値が出生の中位仮定として採用されている。

前回2010年推計から、それまで出生転換後の目標水準としてきた1.85を採用しなくなっており、代わりに出生転換を終えたと考えられる地域の出生過程分析を通じて目標水準が設定されている。今回の推計では、最終推計期間（2095～100年）における出生率は、世界全体が1.99、各国・地域の中位値が1.85となっている。

なお、高位仮定値には国別の中位仮定値に0.5を加えた値が、低位仮定値には中位仮定値より0.5低い値が用いられている。

(2) 死亡の仮定

死亡仮定にはモデル生命表が用いられている。将来の生命表の作成にあたっては、死亡水準に応じて平均余命の変化のペースを規定する確率関数が必要になる。今回の推計では、女性の平均寿命、および男女間の寿命格差に関する考察の結果が、各国・地域の死亡過程

に応じた確率モデルを適用する際の基本情報となっている。

また近年の推計と同様、HIV/エイズ感染率の影響を加味した死亡仮定も設定されている。

(3) 国際人口移動の仮定

国際人口移動の仮定は、過去の移動の動向と将来の移動に関する各国の政策方針などを考慮し設定している。将来推計期間における純移動数（入国者数と出国者数の差）は、2050年まで概ね一定で推移した後、徐々に縮小すると仮定している。

なお、2010～15年以降の国際人口移動がゼロになるケース、すなわち封鎖人口についての推計も行われている。

2. 国連2012年推計の結果の概要

(1) 世界人口の推移

表1および図1は、出生率の中位、高位、低位、ならびに2005～10年の水準で一定の各仮定値による人口総数の推移を、先進地域と発展途上地域の別に示したものである。

世界全体について、基準となる2010年の人口は69億1600万人であるが、2050年には中位で95億5100万人、高位108億6800万人、低位83億4200万人となり、2100年には中位で108億5400万人、高位166億4100万人、低位67億5000万人となる。ちなみに、中位で世界の総人口が100億人を超えるのは2062年である。なお、高位と低位との差は、2050年で25億2700万人であるが2100年には98億9100万人へと拡大する。また、出生率一定による人口規模は2040年頃までは高位をやや下回る規模で推移するが、それ以降は高位を上回り、その差が一気に拡大していく。

低位では2049年の83億4200万人をピークに人口が減少を始め、2097年以降は現在（2010年）の水準を下回るが、他の仮定による人口規模はいずれも一貫して増加を続ける。ただし、中位では長期的に人口増加率が抑制されるのに対して、高位では2010～15年の5年間における増加数が4億7600万人、2095～2100年に6億3700万人となり、増加幅も拡大する。

次に、先進地域についてみると、2010年の人口は12億4100万人であるが、2050年には中位で13億300万人、高位14億7000万人、低位11億4900万人となり、2100年には中位で12億8400万人、高位19億6000万人、低位8億100万人となる。中位では2050年以降で減少する。高位では一貫して増加し、2100年に20億人に近づく。低位では2017年に人口がピークに達し、2073年には10億人を切る。また出生率一定でも、2033年の12億8200万人をピークに人口が減少を始める。

一方、発展途上地域では先進地域に比べ各推計値の差が大きい。2010年の人口は56億7500万人であるが、2050年には中位で82億4800万人、高位93億9800万人、低位71億9300万人となり、2100年には中位で95億7000万人、高位146億8200万人、低位59億4900万人となる。2100年までに人口が減少するケースは低位のみで、2053年に72億人でピークを迎え、それ以降は人口が減少し続ける。

表1 出生率の各仮定値による人口総数：2012年推計

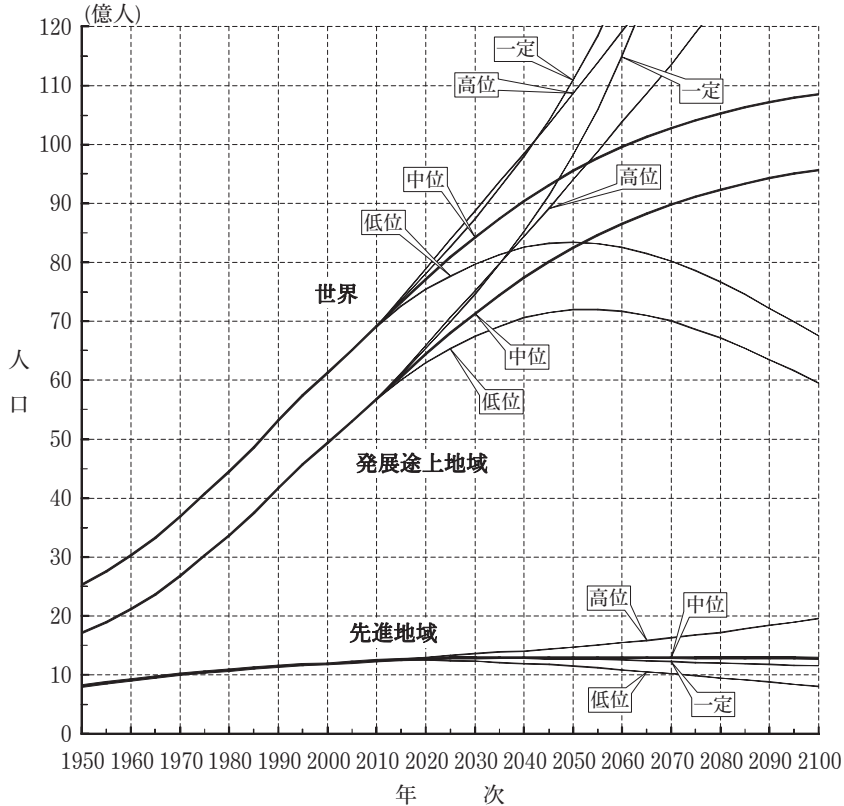
(1,000人)

年次	世界				先進地域 ¹⁾			
	中位	高位	低位	一定	中位	高位	低位	一定
1950	2,525,779				812,943			
1955	2,761,651				863,396			
1960	3,026,003				915,034			
1965	3,329,122				965,809			
1970	3,691,173				1,008,230			
1975	4,071,020				1,048,126			
1980	4,449,049				1,083,077			
1985	4,863,602				1,116,068			
1990	5,320,817				1,148,278			
1995	5,741,822				1,173,484			
2000	6,127,700				1,193,355			
2005	6,514,095				1,215,149			
2010	6,916,183	6,916,183	6,916,183	6,916,183	1,240,935	1,240,935	1,240,935	1,240,935
2015	7,324,782	7,392,233	7,256,925	7,353,522	1,259,588	1,270,029	1,249,148	1,258,535
2020	7,716,749	7,893,904	7,539,163	7,809,497	1,274,929	1,301,526	1,248,332	1,271,094
2025	8,083,413	8,398,226	7,768,450	8,273,410	1,286,157	1,332,073	1,240,241	1,278,471
2030	8,424,937	8,881,519	7,969,407	8,750,296	1,293,905	1,358,551	1,229,312	1,281,964
2035	8,743,447	9,359,400	8,135,087	9,255,828	1,298,645	1,382,563	1,215,208	1,282,256
2040	9,038,687	9,847,909	8,255,351	9,806,383	1,301,301	1,407,397	1,197,350	1,279,737
2045	9,308,438	10,352,435	8,323,978	10,413,537	1,302,632	1,436,322	1,175,030	1,274,825
2050	9,550,945	10,868,444	8,341,706	11,089,178	1,303,110	1,470,258	1,148,504	1,268,070
2055	9,766,475	11,388,551	8,314,597	11,852,474	1,302,189	1,506,813	1,118,355	1,259,185
2060	9,957,399	11,911,465	8,248,967	12,729,809	1,300,218	1,544,393	1,086,172	1,248,792
2065	10,127,007	12,442,757	8,149,085	13,752,494	1,297,809	1,583,215	1,053,024	1,237,574
2070	10,277,339	12,989,484	8,016,514	14,953,882	1,295,499	1,624,912	1,019,176	1,226,055
2075	10,409,149	13,555,593	7,852,342	16,371,225	1,293,581	1,671,264	984,466	1,214,429
2080	10,524,161	14,141,742	7,660,738	18,050,975	1,292,140	1,723,031	948,853	1,202,818
2085	10,626,467	14,747,972	7,449,881	20,050,116	1,290,965	1,779,431	912,494	1,191,107
2090	10,717,401	15,370,937	7,226,104	22,432,681	1,289,669	1,838,735	875,725	1,179,088
2095	10,794,252	16,004,122	6,992,097	25,269,619	1,287,577	1,899,123	838,679	1,166,286
2100	10,853,849	16,641,244	6,750,256	28,646,425	1,284,035	1,959,544	801,409	1,152,181

年次	発展途上地域 ²⁾			
	中位	高位	低位	一定
1950	1,712,836			
1955	1,898,255			
1960	2,110,969			
1965	2,363,314			
1970	2,682,943			
1975	3,022,894			
1980	3,365,971			
1985	3,747,533			
1990	4,172,538			
1995	4,568,339			
2000	4,934,346			
2005	5,298,945			
2010	5,675,249	5,675,249	5,675,249	5,675,249
2015	6,065,194	6,122,204	6,007,777	6,094,988
2020	6,441,820	6,592,377	6,290,830	6,538,402
2025	6,797,256	7,066,154	6,528,210	6,994,940
2030	7,131,033	7,522,968	6,740,095	7,468,332
2035	7,444,802	7,976,836	6,919,879	7,973,572
2040	7,737,386	8,440,512	7,058,001	8,526,646
2045	8,005,806	8,916,113	7,148,948	9,138,712
2050	8,247,835	9,398,185	7,193,202	9,821,109
2055	8,464,286	9,881,737	7,196,242	10,593,288
2060	8,657,181	10,367,073	7,162,795	11,481,017
2065	8,829,198	10,859,542	7,096,062	12,514,920
2070	8,981,841	11,364,573	6,997,338	13,727,827
2075	9,115,568	11,884,329	6,867,876	15,156,796
2080	9,232,021	12,418,711	6,711,885	16,848,157
2085	9,335,502	12,968,540	6,537,387	18,859,009
2090	9,427,732	13,532,202	6,350,379	21,253,593
2095	9,506,675	14,104,999	6,153,418	24,103,334
2100	9,569,814	14,681,700	5,948,847	27,494,244

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図1 出生率の各仮定値による人口総数：2012年推計



発展途上地域の出生率が先進地域のそれよりも高めに設定されていることなどを背景に、人口増加率が発展途上地域で相対的に高くなり、人口のシェアも発展途上地域で拡大していく。世界全体に対する発展途上地域の人口割合は、2010年に82%であるが、2100年には中位、高位、低位、いずれの出生仮定においても88%まで拡大する。ちなみに出生率一定では、2100年の世界人口の96%が発展途上地域によって占められることになる。

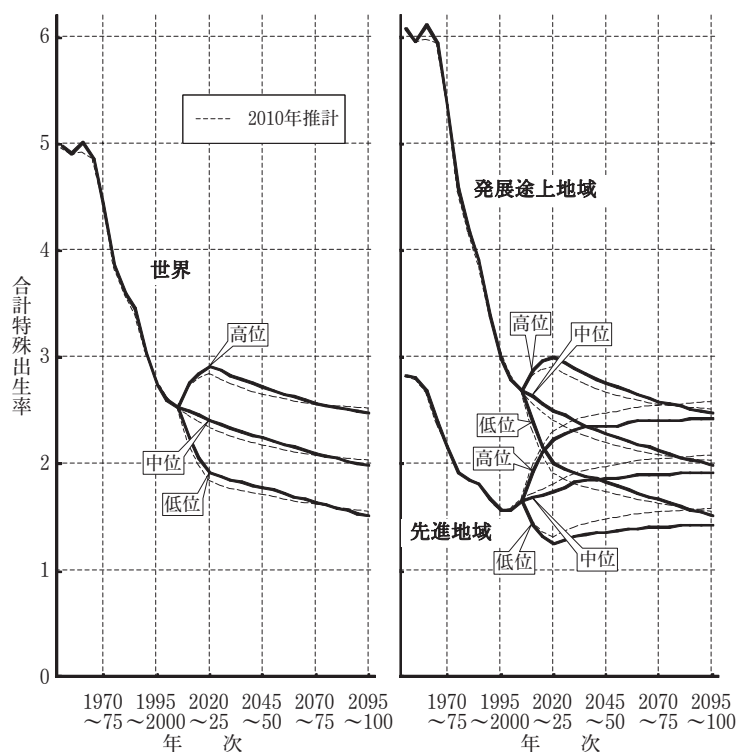
先進地域と発展途上地域の人口動向は出生仮定のバリエーションに依拠するところが多い。中位仮定の出生率は、2005～10年の2.53から2050～55年の2.21、2095～100年の1.99まで低下する（表2、図2）。この出生仮定によると、2101年以降の将来のある時点で世界人口が減少を始めることになる。一方、先進地域では2005～10年の1.66から2050～55年の1.87、2095～100年の1.93まで緩やかに上昇し、発展途上地域では2005～10年の2.69から2050～55年の2.25、2095～100年の1.99まで急速に低下する。先進地域と発展途上地域の出生率は、2100年に向けて急速に両者の差を縮めていき、最終的には人口置換水準以下に収斂すると仮定されている。なお、中位、高位、低位の各出生仮定は、中位値を基準に、高位で概ね+0.5、低位で-0.5の差が設けられていることから、先進地域と発展途上地域の出生率の差は、いずれの仮定であっても同じである。

表 2 合計特殊出生率の仮定値：2012年推計

年次	世界			先進地域 ¹⁾			発展途上地域 ²⁾		
	中位	高位	低位	中位	高位	低位	中位	高位	低位
1950～55	4.97			2.83			6.08		
1955～60	4.91			2.81			5.95		
1960～65	5.02			2.68			6.11		
1965～70	4.85			2.39			5.93		
1970～75	4.44			2.15			5.36		
1975～80	3.85			1.92			4.57		
1980～85	3.60			1.84			4.18		
1985～90	3.45			1.81			3.92		
1990～95	3.04			1.67			3.38		
1995～00	2.73			1.56			2.99		
2000～05	2.60			1.58			2.80		
2005～10	2.53			1.66			2.69		
2010～15	2.50	2.75	2.25	1.68	1.93	1.43	2.63	2.88	2.38
2015～20	2.45	2.85	2.05	1.71	2.11	1.31	2.56	2.96	2.16
2020～25	2.41	2.91	1.91	1.74	2.24	1.25	2.50	3.00	2.01
2025～30	2.37	2.87	1.88	1.78	2.28	1.29	2.45	2.95	1.96
2030～35	2.34	2.83	1.85	1.82	2.33	1.32	2.41	2.90	1.92
2035～40	2.31	2.79	1.82	1.84	2.35	1.34	2.36	2.85	1.88
2040～45	2.27	2.75	1.80	1.85	2.35	1.35	2.32	2.80	1.86
2045～50	2.24	2.71	1.78	1.85	2.35	1.36	2.29	2.76	1.83
2050～55	2.21	2.69	1.75	1.87	2.36	1.37	2.25	2.72	1.80
2055～60	2.18	2.66	1.72	1.88	2.38	1.39	2.22	2.69	1.76
2060～65	2.15	2.63	1.70	1.90	2.40	1.40	2.18	2.65	1.73
2065～70	2.13	2.60	1.67	1.90	2.41	1.40	2.15	2.62	1.70
2070～75	2.10	2.57	1.64	1.91	2.40	1.41	2.12	2.59	1.67
2075～80	2.07	2.55	1.61	1.91	2.40	1.41	2.09	2.56	1.64
2080～85	2.05	2.53	1.59	1.91	2.41	1.42	2.07	2.54	1.60
2085～90	2.03	2.51	1.56	1.92	2.42	1.42	2.04	2.52	1.57
2090～95	2.01	2.49	1.53	1.92	2.43	1.43	2.02	2.50	1.55
2095～100	1.99	2.47	1.51	1.93	2.43	1.43	1.99	2.48	1.52

1) ヨーロッパ，北部アメリカ，日本，オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域，2) 先進地域以外の地域。

図 2 合計特殊出生率の仮定値：2012年推計



(2) 主要地域別にみた人口の推移

1) 人口総数の推移

ここでは、2012年推計の出生率中位仮定（中位推計）の結果から、主要地域別にみた人口推移の特徴と差異について考察を行う（表3、図3）。

世界人口をアフリカ、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカ・カリブ海、北部アメリカ、オセアニアの6地域に区分した場合、1950年の世界人口25億2600万人に占める割合は、アジアが55.3%と最も大きく、次にヨーロッパが続く。世界人口が今日まで増加を続けるなか、アジアの人口は一貫して過半数を占め、アフリカは1950年の9.1%から2010年の14.9%にまで急速にシェアを拡大している。一方、1950年に21.7%を占めていたヨーロッパの人口シェアは2010年の10.7%まで半減した。今後も現在の趨勢が変わらなければ、アフリカの人口は2050年に世界人口の4分の1（25.1%）、2100年には38.6%まで拡大するのに対し、ヨーロッパのシェアは2100年に5.9%まで縮小する。北部アメリカのシェアは2010年の5.0%から微減し、2100年には4.7%となる。アジアは2000年の60.7%をピークにそのシェアをすでに減らし始めており、2068年には過半数を割り、2100年には43.4%になるとみられている。ラテンアメリカ・カリブ海、オセアニアは、相対的に安定した人口シェアを保っている。

このように地域間の人口バランスが変化する背景には、地域ごとに人口増加率が異なるという実情がある（表4）。アフリカは1950年代から今日まで2%を超える高い増加率を維持しており、今後その速度は徐々に低下するとみられるものの、2035～40年に1.97%、2045～50年に1.74%と依然高い水準で推移する。アジアでは1990年頃まで2%前後の高い人口増加率を示していたが、その後は現在に至るまで増加率は緩やかな低下傾向にあり、2005～10年には1.1%である。今後アジアの人口増加はさらに減速し、2054年以降には人口が減少に転じるとみられている。ヨーロッパでは、東ヨーロッパがすでに1990年前半から人口を減らしているが、ヨーロッパ全体でも2019年以降、減少が始まる。

2) 出生率の地域差

前項でみた主要地域別人口の差異は、主として出生動向の地域差に起因するところが大きい。表5は主要地域別の出生率の推移を示すものである。

ヨーロッパは総じて合計特殊出生率が低く、1975～80年にはすでに2を下回っており、今後徐々に回復することが見込まれているものの、2100年時点でも人口置換水準には達しない。北部アメリカは1950～55年に3を上回る水準にあり、1970年代後半から1980年代にかけて一時1.8を下回るものの、その後は概ね2を若干下回る水準を維持しており、今後も安定的に推移するとみられている。アジアとラテンアメリカ・カリブ海地域では現在2を上回る水準であるが、両地域とも2030～35年に2を下回った後は2100年まで1.8～1.85で推移する。なお、日本を含む東部アジアは1995～2000年以降出生率がすでに2を下回っており、今日アジアのなかでも著しく低出生率の地域であるが、今後ヨーロッパの低出生地域と近い傾向を辿るとみられる。一方、アフリカ全域、なかでも東部アフリカ、中部ア

表3 主要地域別人口および割合：2012年推計（中位）

地 域				1950年	1975年	2000年	2010年	2050年	2100年
人口 (1,000人)									
世			界域	2,525,779	4,071,020	6,127,700	6,916,183	9,550,945	10,853,849
先	進	地	域 ¹⁾	812,943	1,048,126	1,193,355	1,240,935	1,303,110	1,284,035
発	展	上	域 ²⁾	1,712,836	3,022,894	4,934,346	5,675,249	8,247,835	9,569,814
ア	フ	リ	カ	228,827	417,413	808,304	1,031,084	2,393,175	4,184,577
東	ア	リ	カ	67,033	127,549	260,001	342,595	869,221	1,557,309
中	ア	リ	カ	26,193	45,909	93,751	124,978	316,111	546,195
南	ア	リ	カ	49,332	95,121	169,331	199,620	318,729	368,932
北	ア	リ	カ	15,588	29,093	51,420	58,803	74,562	76,762
西	ア	リ	カ	70,681	119,739	233,803	305,088	814,552	1,635,380
ア	ジ	ア	ア	1,395,749	2,387,024	3,717,372	4,165,440	5,164,061	4,711,514
東	ア	ジ	ア	666,249	1,097,526	1,506,561	1,593,571	1,605,341	1,261,446
中	ア	ジ	ア	17,499	36,970	55,047	61,694	86,154	87,733
南	ア	ジ	ア	492,799	835,191	1,447,851	1,681,407	2,312,026	2,203,449
東	ア	ジ	ア	167,986	318,655	524,410	597,097	787,535	758,021
南	ア	ジ	ア	51,216	98,681	183,503	231,671	373,006	400,865
西	ア	ジ	ア	549,043	677,662	729,105	740,308	709,067	638,816
ヨ	ロ	ッ	パ	220,144	285,635	304,512	296,183	246,523	198,674
東	ヨ	ッ	パ	78,030	89,014	94,423	98,795	115,768	123,853
北	ヨ	ッ	パ	108,352	132,757	145,630	154,712	150,889	128,527
南	ヨ	ッ	パ	142,517	170,255	184,541	190,618	195,887	187,761
西	ヨ	ッ	パ	167,869	324,746	526,278	596,191	781,566	736,228
ラ	ア	メ	リ	17,091	27,645	38,436	41,625	47,647	41,131
テ	ン	リ	カ	38,318	81,980	139,596	160,546	228,833	227,613
ン	ア	メ	リ	112,460	215,122	348,246	394,021	505,086	467,484
北	ア	メ	リ	171,615	242,685	315,417	346,501	446,201	513,065
オ	セ	ア	ニ	12,675	21,492	31,224	36,659	56,874	69,648
割合 (%)									
世			界域	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
先	進	地	域 ¹⁾	32.2	25.7	19.5	17.9	13.6	11.8
発	展	上	域 ²⁾	67.8	74.3	80.5	82.1	86.4	88.2
ア	フ	リ	カ	9.1	10.3	13.2	14.9	25.1	38.6
ア	ジ	ア	ア	55.3	58.6	60.7	60.2	54.1	43.4
ヨ	ロ	ッ	パ	21.7	16.6	11.9	10.7	7.4	5.9
ラ	ア	メ	リ	6.6	8.0	8.6	8.6	8.2	6.8
北	ア	メ	リ	6.8	6.0	5.1	5.0	4.7	4.7
オ	セ	ア	ニ	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域、2) 先進地域以外の地域。

図3 主要地域別人口：2012年推計（中位）

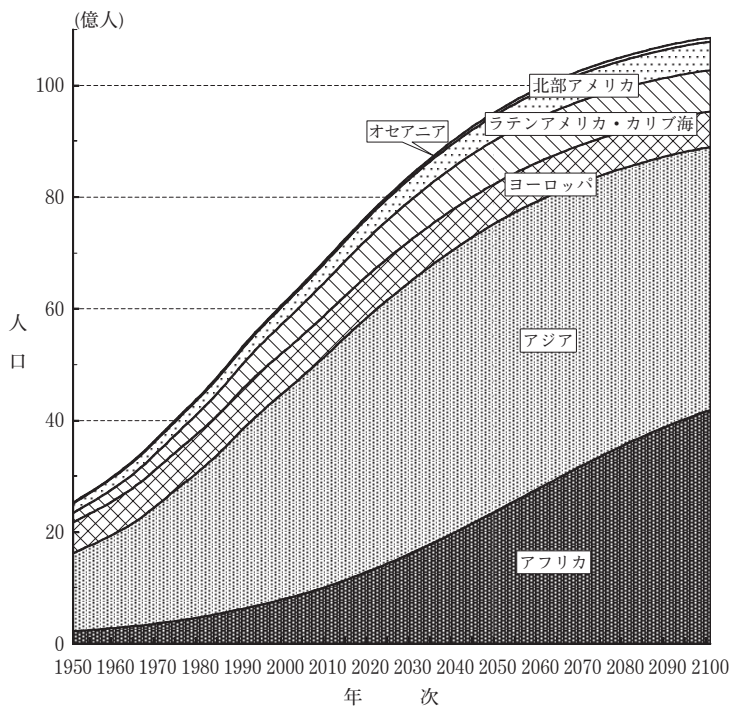


表4 主要地域別人口増加率：2012年推計（中位）

（年平均：％）

地域		1950 ～55	1955 ～60	1960 ～65	1965 ～70	1970 ～75	1975 ～80	1980 ～85	1985 ～90	1990 ～95	1995 ～00	2000 ～05
世	先進地域 ¹⁾	1.79	1.83	1.91	2.06	1.96	1.78	1.78	1.80	1.52	1.30	1.22
	発展途上地域 ²⁾	1.20	1.16	1.08	0.86	0.78	0.66	0.60	0.57	0.43	0.34	0.36
ア	フリカ	2.06	2.12	2.26	2.54	2.39	2.15	2.15	2.15	1.81	1.54	1.43
	東部フリカ	2.09	2.32	2.46	2.55	2.60	2.73	2.78	2.72	2.57	2.41	2.40
	中部フリカ	2.20	2.41	2.62	2.78	2.86	2.94	2.92	2.97	2.54	2.87	2.74
	北部フリカ	1.86	2.09	2.29	2.47	2.52	2.70	2.82	2.91	3.33	2.51	2.90
	南部フリカ	2.57	2.80	2.71	2.64	2.41	2.57	2.68	2.46	2.16	1.66	1.61
	西部フリカ	2.30	2.41	2.56	2.54	2.67	2.52	2.55	2.30	2.39	1.64	1.41
ア	アジア	1.67	1.96	2.14	2.28	2.50	2.69	2.75	2.67	2.68	2.59	2.61
	東部アジア	1.94	1.95	2.09	2.47	2.29	1.97	1.97	2.00	1.61	1.30	1.18
	中央アジア	1.91	1.61	1.76	2.52	2.18	1.44	1.45	1.68	1.11	0.65	0.55
	南部アジア	2.64	3.76	3.54	2.62	2.39	2.05	2.07	1.96	1.16	0.73	0.94
	南東部アジア	1.76	2.02	2.18	2.31	2.29	2.44	2.38	2.29	2.05	1.85	1.61
	西部アジア	2.29	2.64	2.72	2.65	2.51	2.25	2.29	2.08	1.78	1.56	1.38
ヨ	ヨーロッパ	2.52	2.57	2.66	2.60	2.76	2.81	2.86	2.47	2.28	1.99	2.24
	東部ヨーロッパ	0.99	0.97	0.95	0.69	0.61	0.49	0.42	0.39	0.18	-0.02	0.11
	北部ヨーロッパ	1.50	1.33	1.02	0.70	0.67	0.66	0.58	0.45	-0.04	-0.37	-0.42
	南部ヨーロッパ	0.40	0.58	0.72	0.56	0.38	0.20	0.18	0.30	0.24	0.26	0.37
	西部ヨーロッパ	0.88	0.77	0.82	0.72	0.87	0.79	0.48	0.27	0.11	0.20	0.63
	ラテンアメリカ・カリブ海	0.60	0.73	1.07	0.73	0.43	0.13	0.21	0.44	0.58	0.25	0.40
	カリブ海	2.71	2.73	2.77	2.55	2.43	2.29	2.09	1.93	1.77	1.58	1.33
	中央アメリカ	1.92	1.95	2.16	1.83	1.75	1.47	1.43	1.40	1.25	1.05	0.88
	南部アメリカ	2.93	3.14	3.14	3.04	2.96	2.60	2.12	2.06	2.10	1.76	1.41
北	オセアニア	2.76	2.70	2.72	2.47	2.32	2.27	2.16	1.94	1.70	1.56	1.35
オ		1.69	1.80	1.43	1.06	0.95	0.97	1.00	1.05	1.05	1.17	0.94
		2.23	2.15	2.07	2.36	1.76	1.33	1.59	1.62	1.49	1.44	1.48

地域		2005 ～10	2010 ～15	2015 ～20	2020 ～25	2025 ～30	2030 ～35	2035 ～40	2040 ～45	2045 ～50	2050 ～75	2075 ～2100
世	先進地域 ¹⁾	1.20	1.15	1.04	0.93	0.83	0.74	0.66	0.59	0.51	0.34	0.17
	発展途上地域 ²⁾	0.42	0.30	0.24	0.18	0.12	0.07	0.04	0.02	0.01	-0.03	-0.03
ア	フリカ	1.37	1.33	1.20	1.07	0.96	0.86	0.77	0.68	0.60	0.40	0.19
	東部フリカ	2.46	2.46	2.36	2.24	2.15	2.06	1.97	1.86	1.74	1.39	0.85
	中部フリカ	2.78	2.83	2.66	2.51	2.38	2.26	2.13	1.99	1.86	1.46	0.88
	北部フリカ	2.85	2.74	2.64	2.53	2.41	2.28	2.13	1.99	1.85	1.41	0.77
	南部フリカ	1.68	1.68	1.55	1.35	1.18	1.05	0.95	0.86	0.75	0.45	0.14
	西部フリカ	1.28	0.85	0.69	0.63	0.58	0.56	0.53	0.49	0.43	0.21	-0.09
ア	アジア	2.72	2.73	2.66	2.58	2.52	2.44	2.35	2.24	2.11	1.71	1.07
	東部アジア	1.10	1.03	0.88	0.72	0.57	0.45	0.33	0.22	0.11	-0.11	-0.25
	中央アジア	0.57	0.54	0.39	0.19	0.03	-0.09	-0.20	-0.31	-0.41	-0.55	-0.42
	南部アジア	1.34	1.40	1.26	1.02	0.79	0.66	0.61	0.53	0.41	0.12	-0.05
	南東部アジア	1.38	1.29	1.15	1.01	0.86	0.71	0.58	0.45	0.33	0.04	-0.23
	西部アジア	1.22	1.17	1.02	0.88	0.75	0.62	0.49	0.36	0.25	0.02	-0.17
ヨ	ヨーロッパ	2.42	1.88	1.60	1.36	1.18	1.05	0.94	0.82	0.69	0.32	-0.03
	東部ヨーロッパ	0.20	0.08	0.01	-0.07	-0.13	-0.16	-0.18	-0.20	-0.22	-0.26	-0.16
	北部ヨーロッパ	-0.14	-0.25	-0.32	-0.43	-0.51	-0.54	-0.55	-0.54	-0.55	-0.55	-0.32
	南部ヨーロッパ	0.53	0.54	0.52	0.46	0.40	0.34	0.31	0.31	0.29	0.19	0.08
	西部ヨーロッパ	0.58	0.19	0.06	-0.03	-0.07	-0.10	-0.13	-0.17	-0.24	-0.38	-0.26
	ラテンアメリカ・カリブ海	0.25	0.25	0.19	0.13	0.08	0.03	-0.01	-0.05	-0.08	-0.09	-0.08
	カリブ海	1.16	1.11	0.98	0.86	0.73	0.61	0.49	0.37	0.27	0.01	-0.25
	中央アメリカ	0.71	0.70	0.61	0.51	0.41	0.29	0.18	0.06	-0.05	-0.24	-0.35
	南部アメリカ	1.39	1.37	1.22	1.09	0.95	0.81	0.67	0.55	0.43	0.14	-0.16
北	オセアニア	1.12	1.04	0.92	0.80	0.67	0.55	0.44	0.33	0.22	-0.03	-0.28
オ		0.94	0.83	0.79	0.74	0.68	0.59	0.52	0.47	0.45	0.37	0.19
		1.73	1.42	1.33	1.23	1.12	1.03	0.95	0.88	0.82	0.58	0.23

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域、2) 先進地域以外の地域。

表5 主要地域別合計特殊出生率：2012年推計（中位）

地 域	1950～	1975～	2010～	2025～	2050～	2075～	2095～
	55年	80年	15年	30年	55年	80年	2100年
世	4.97	3.85	2.50	2.37	2.21	2.07	1.99
先進地域 ¹⁾	2.83	1.92	1.68	1.78	1.87	1.91	1.93
発展途上地域 ²⁾	6.08	4.57	2.63	2.45	2.25	2.09	1.99
アフリカ	6.60	6.61	4.68	3.88	2.94	2.38	2.12
東部	7.01	7.11	4.93	3.83	2.84	2.35	2.13
中部	5.99	6.57	5.68	4.37	2.96	2.30	2.04
北部	6.81	6.09	3.04	2.57	2.16	1.97	1.91
南部	6.28	5.14	2.48	2.14	1.86	1.82	1.83
西部	6.35	6.91	5.63	4.75	3.41	2.57	2.20
アジア	5.83	4.09	2.19	2.02	1.87	1.84	1.85
東部	5.60	2.86	1.66	1.72	1.81	1.85	1.88
中央	5.23	4.43	2.61	2.26	2.02	1.92	1.89
南部	6.05	5.25	2.53	2.16	1.87	1.82	1.83
南東部	5.92	4.80	2.23	2.02	1.88	1.84	1.85
西部	6.32	5.34	2.74	2.35	2.00	1.88	1.86
ヨーロッパ	2.67	1.98	1.58	1.71	1.82	1.87	1.90
東部	2.91	2.07	1.49	1.66	1.80	1.85	1.88
北部	2.32	1.80	1.87	1.90	1.92	1.92	1.93
南部	2.68	2.27	1.49	1.62	1.78	1.85	1.87
西部	2.39	1.65	1.67	1.76	1.84	1.88	1.90
ラテンアメリカ・カリブ海	5.86	4.46	2.18	1.94	1.82	1.83	1.85
カリブ海	5.27	3.61	2.26	2.04	1.85	1.82	1.84
中央アメリカ	6.73	5.36	2.39	2.04	1.86	1.85	1.85
南部	5.66	4.25	2.08	1.89	1.80	1.82	1.84
北アメリカ	3.35	1.77	1.94	1.96	1.97	1.98	1.98
オセアニア	3.84	2.72	2.40	2.25	2.07	1.95	1.91

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

表6 主要地域の性別平均寿命：2012年推計

(年)

地 域	男					女				
	1950～	1975～	2010～	2050～	2095～	1950～	1975～	2010～	2050～	2095～
	55年	80年	15年	55年	2100年	55年	80年	15年	55年	2100年
世	45.9	58.6	67.8	74.4	79.9	47.9	62.8	72.3	78.8	83.7
先進地域 ¹⁾	62.1	68.2	74.3	80.6	86.5	67.2	75.6	81.1	86.3	91.4
発展途上地域 ²⁾	41.3	56.7	66.5	73.4	79.1	42.0	59.4	70.2	77.5	82.7
アフリカ	36.2	47.2	56.9	68.1	75.1	38.6	50.2	59.6	72.0	79.2
東部	35.6	45.9	58.6	70.6	77.5	38.4	49.1	61.4	74.9	81.7
中部	35.2	44.3	49.9	62.6	71.2	38.3	47.2	53.0	67.3	76.3
北部	41.4	54.7	67.3	73.2	79.1	43.3	57.9	71.4	77.6	82.5
南部	43.6	52.5	54.5	67.4	75.3	45.8	58.5	58.3	71.5	80.0
西部	32.7	43.5	53.7	65.8	72.9	34.8	45.8	54.8	68.3	76.4
アジア	42.1	58.8	69.6	75.6	81.6	42.4	61.4	73.4	79.5	84.5
東部	45.9	65.4	74.7	79.9	84.8	46.5	68.9	78.2	83.1	88.0
中央	50.6	59.2	62.9	68.0	74.8	58.9	67.6	71.3	76.4	81.3
南部	37.8	54.1	65.4	72.7	79.7	36.1	54.1	68.6	76.5	82.2
南東部	42.3	54.9	68.6	75.4	81.9	45.8	60.2	74.3	80.5	85.5
西部	40.4	58.0	70.8	78.0	82.8	45.0	62.7	76.3	82.0	86.2
ヨーロッパ	60.9	67.0	72.2	78.7	85.1	66.1	74.8	80.0	85.3	90.7
東部	56.9	63.9	64.8	70.9	77.6	63.2	73.2	75.8	80.2	84.6
北部	66.3	69.7	77.6	83.3	88.4	71.2	76.2	82.3	87.2	92.3
南部	61.5	69.4	77.9	83.8	89.2	65.4	75.7	83.6	89.2	94.7
西部	65.3	69.4	78.3	83.8	89.1	70.0	76.3	83.7	89.1	94.6
ラテンアメリカ・カリブ海	49.7	60.6	71.5	80.1	85.7	53.1	65.9	77.9	84.8	90.1
カリブ海	50.6	62.5	70.0	77.2	82.1	53.6	66.4	75.2	81.8	86.2
中央アメリカ	47.6	60.7	73.8	82.1	87.5	50.7	66.8	79.0	85.7	91.3
南部	50.3	60.3	70.9	79.6	85.2	53.9	65.6	77.7	84.6	89.9
北アメリカ	65.8	69.5	76.7	82.4	87.1	71.7	77.1	81.5	86.2	90.9
オセアニア	58.1	65.1	75.4	79.8	84.3	63.1	71.4	79.9	84.5	89.0

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

フリカ、およびオセアニア全域では相対的に高い出生率が維持される。

3) 平均寿命の地域差

次に、主要地域別に平均寿命をみてみよう。現在（2010～15年）、男女ともに北部アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアが相対的に長くなっている（表6）。なかでも、西部ヨーロッパは男性78年、女性84年と最も“長寿”である。逆にアフリカは全体的に短く、なかでも中部アフリカは男女とも50年前後と最も“短命”の地域である。

将来の平均寿命は、すべての地域において今後も伸びると仮定されており、2095～100年には東部を除くヨーロッパと北部アメリカにおいて男性は87年、女性は90年を超え、現時点で平均寿命が短いアフリカ地域でも男性71年、女性76年にまで伸びると推計されている。

4) 国際人口移動

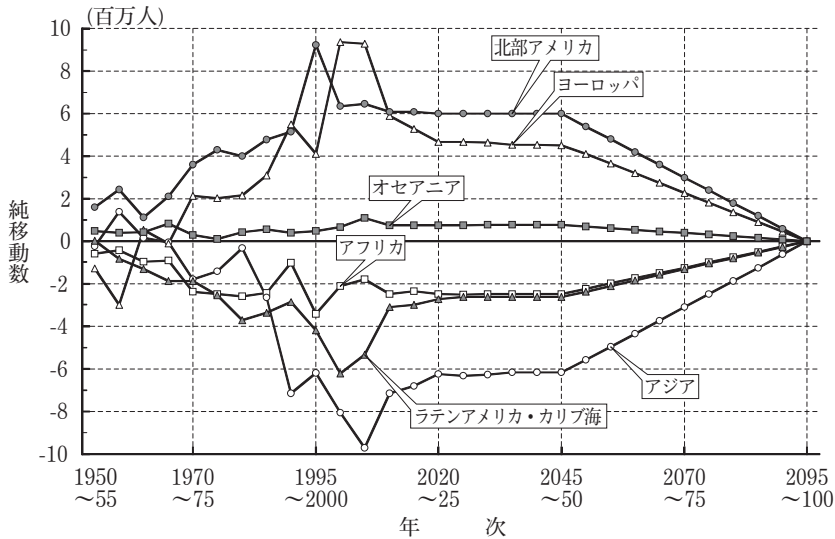
国際人口移動、すなわち国・地域間の人口移動は、発展途上地域から先進地域への動きが、その逆をはるかに上回る傾向にある。そのため、純移動数は総じて、先進地域でプラス、発展途上地域でマイナスになっている。これまでの実績では、ヨーロッパと北部アメリカにおいて、入国者数が出国者数を大きく上回っている結果、純移動数がプラス（転入超過）になっており、アジア、ラテンアメリカ、アフリカ地域では逆に、出国者数が入国者数を上回ることによって純移動数が大きくマイナス（転出超過）になっている（表7、図4）。

表7 主要地域別純移動数：2012年推計

地 域		1950～ 55年	1975～ 80年	2010～ 15年	2025～ 30年	2050～ 55年	2075～ 80年	2095～ 2100年
世		-0	-0	-0	0	0	-0	0
先 進 地 域 ¹⁾	界 域	893	6,532	13,170	11,753	10,473	4,654	0
発 展 途 上 地 域 ²⁾	域	-893	-6,532	-13,170	-11,753	-10,473	-4,654	-0
ア	フ	-595	-2,494	-2,481	-2,498	-2,237	-1,000	0
東 部	ア	-122	-665	597	-752	-676	-306	0
中 部	ア	-6	-103	-191	-141	-118	-53	0
北 部	ア	-405	-1,327	-1,740	-729	-656	-291	0
南 部	ア	-35	28	-109	84	74	33	0
西 部	ア	-27	-426	-1,038	-960	-860	-382	0
ア	ジ	-242	-1,404	-7,158	-6,318	-5,589	-2,483	0
東 部	ア	-530	15	-680	-890	-801	-356	0
中 央	ア	207	-329	-500	-400	-367	-163	0
南 部	ア	-238	-288	-7,376	-4,200	-3,755	-1,670	0
南 東 部	ア	-44	-1,343	-1,073	-1,128	-1,010	-449	0
西 部	ア	364	542	2,471	299	344	156	0
ヨ	ロ	-1,273	2,018	5,897	4,680	4,106	1,824	0
東 部	ヨ	60	488	1,104	617	456	203	0
北 部	ヨ	-506	301	1,397	1,327	1,197	532	0
南 部	ヨ	-960	711	1,497	1,167	1,050	467	0
西 部	ヨ	133	518	1,899	1,570	1,402	623	0
ラテンアメリカ・カリブ海	カ	20	-2,526	-3,103	-2,622	-2,373	-1,053	0
カ	リ	-456	-611	-636	-524	-454	-200	0
中 央	ア	-272	-1,444	-1,570	-1,368	-1,260	-559	0
南 部	ア	748	-472	-897	-731	-659	-294	0
北 部	ア	1,610	4,308	6,099	5,998	5,400	2,400	0
オ	セ	480	98	747	761	694	312	-0

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図4 主要地域別純移動数：2012年推計



将来の仮定設定は、いずれの地域の純移動数も段階的にゼロに近づくというシナリオに基づいている。

II. 世界の人口動向に基づく人口学的考察

1. 年齢構造の分析

(1) 人口ピラミッドの変遷

人口の年齢構造は、仮定された出生、死亡、国際人口移動の変化のもとで、地域ごとに異なる変遷をたどっている。

人口ピラミッドの形状をみると、発展途上地域における1950年は典型的な「富士山型」を示していた（図5）。一方、先進地域のそれは、それ以前から出生率低下が生じていたため発展途上地域に比べピラミッドの裾があまり広がらなくなっていることがわかる。それが50年後の2000年になると、発展途上地域でも出生率低下を反映してピラミッドの裾が丸みを帯びつつある。一方同年における先進地域をみると、人口置換水準以下の出生率が長期間継続していることを主要因としてピラミッドの裾が若い年齢ほど狭まり、「つぼ型」を形成している。さらに50年後、100年後になると、主に将来の出生仮定（すべての国の合計特殊出生率が人口置換水準に近づく）を反映して先進地域と発展途上地域の人口ピラミッドの形がともに「釣り鐘型」へと移行し、ほぼ同じ年齢構造を示すようになる。

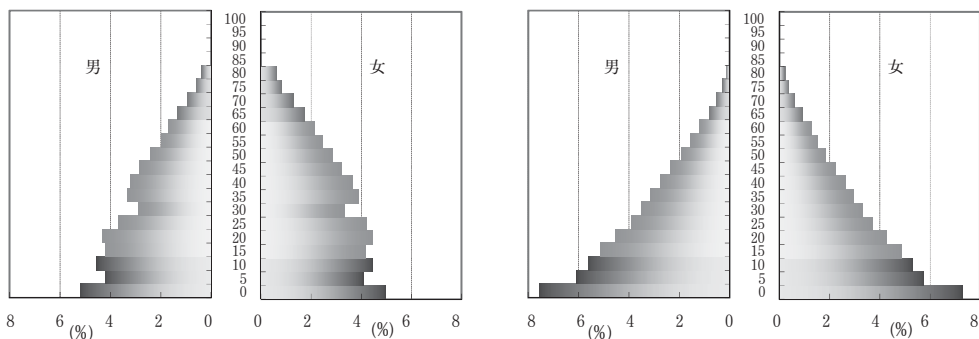
人口ピラミッドは人口変動要因である出生、死亡、移動の変化に伴いその形状を徐々に変化させる。すなわち、人口転換のプロセスと密接に関連し、多産多死の状態では「富士山型」を形成し、それが多産少死になると若年齢層の死亡の改善に伴い、徐々に低年齢での傾きが緩やかになる。そして、少産少死（ほぼ人口置換水準）に達すると「釣り鐘型」に、さらにそれよりも出生率低下が進行することにより裾野が狭い「つぼ型」へと形状が

図5 先進地域と発展途上地域における人口ピラミッドの変化：2012年推計（中位）

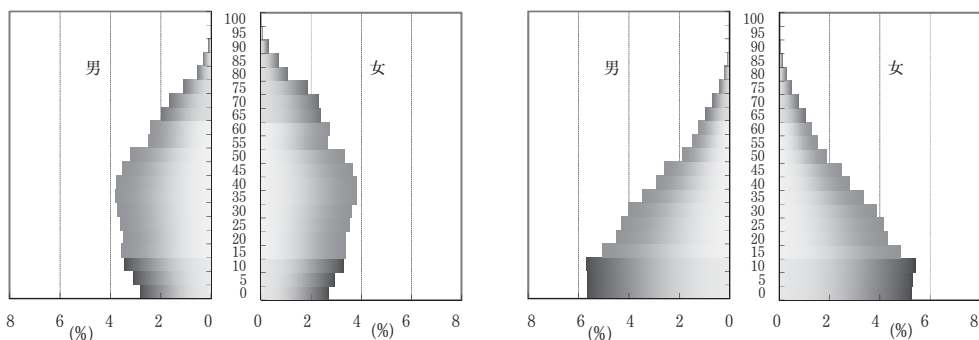
(1) 先進地域

(2) 発展途上地域

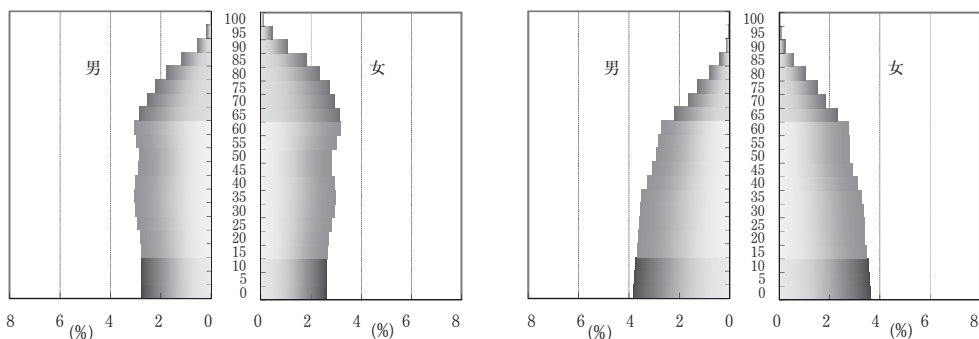
① 1950年



② 2000年



③ 2050年



④ 2100年

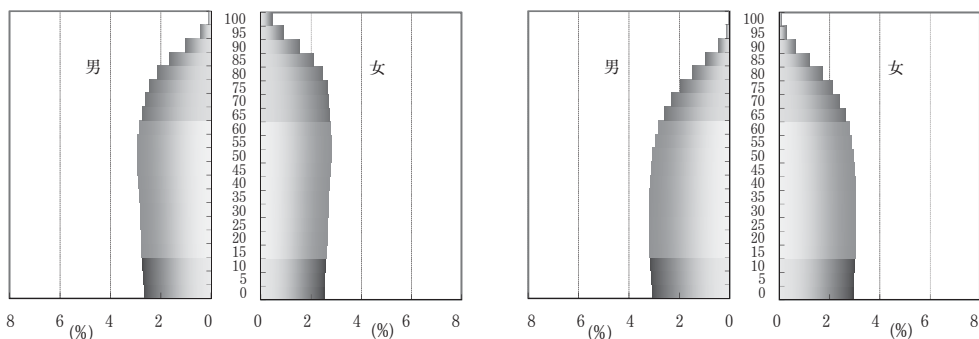


表8 主要地域別、年齢（3区分）別人口：2012年推計（中位）

(1,000人)

地 域	1950年			2010年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世	867,652	1,529,700	128,427	1,842,237	4,543,439	530,507
先進地域 ¹⁾	223,175	527,110	62,659	203,703	837,794	199,438
発展途上地域 ²⁾	644,477	1,002,591	65,768	1,638,534	3,705,645	331,070
アフリカ	94,826	126,733	7,267	424,072	571,630	35,381
東部アフリカ	28,826	36,201	2,006	152,756	179,512	10,327
中部アフリカ	10,786	14,410	997	56,752	64,609	3,617
北部アフリカ	19,808	28,005	1,519	62,965	126,876	9,779
南部アフリカ	6,052	8,967	568	18,002	37,842	2,958
西部アフリカ	29,354	39,150	2,176	133,597	162,790	8,701
アジア	510,168	829,000	56,582	1,060,076	2,821,198	284,166
東部アジア	232,340	404,358	29,550	282,407	1,157,329	153,835
中央アジア	5,722	10,708	1,070	18,049	40,670	2,974
南部アジア	187,680	287,669	17,450	519,854	1,078,564	82,989
南東部アジア	64,978	96,670	6,338	168,308	396,068	32,722
西部アジア	19,449	29,594	2,173	71,458	148,567	11,647
ヨーロッパ	144,668	360,722	43,654	114,050	505,284	120,975
東部ヨーロッパ	62,837	144,250	13,058	43,619	211,027	41,537
北部ヨーロッパ	18,504	51,436	8,090	17,283	65,251	16,261
南部ヨーロッパ	29,990	70,241	8,122	23,147	103,639	27,926
西部ヨーロッパ	33,338	94,795	14,384	30,000	125,367	35,251
ラテンアメリカ・カリブ海	67,510	94,469	5,890	167,654	388,119	40,419
カリブ海	6,743	9,672	676	11,069	27,027	3,528
中央アメリカ	16,302	20,693	1,323	50,533	100,740	9,273
南アメリカ	44,464	64,105	3,891	106,051	260,351	27,618
北部アメリカ	46,697	110,819	14,100	67,594	233,268	45,639
オセアニア	3,783	7,958	934	8,791	23,940	3,928

地 域	2050年			2100年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世	2,034,447	6,026,928	1,489,570	1,944,239	6,533,876	2,375,733
先進地域 ¹⁾	209,873	757,051	336,186	201,575	714,414	368,046
発展途上地域 ²⁾	1,824,574	5,269,877	1,153,384	1,742,664	5,819,462	2,007,688
アフリカ	771,113	1,481,951	140,111	907,319	2,690,128	587,131
東部アフリカ	280,588	541,585	47,048	331,145	984,425	241,739
中部アフリカ	107,004	195,305	13,802	116,684	357,165	72,345
北部アフリカ	73,013	207,125	38,591	64,086	225,284	79,561
南部アフリカ	16,406	50,721	7,434	12,883	47,437	16,442
西部アフリカ	294,101	487,215	33,236	382,520	1,075,817	177,043
アジア	925,069	3,337,993	901,000	735,146	2,753,609	1,222,759
東部アジア	232,719	967,702	404,920	189,269	705,552	366,626
中央アジア	18,866	57,291	9,997	15,254	54,901	17,577
南部アジア	451,110	1,562,147	298,770	347,196	1,315,260	540,992
南東部アジア	147,364	509,034	131,137	119,873	443,442	194,706
西部アジア	75,010	241,820	56,176	63,553	234,454	102,858
ヨーロッパ	109,036	409,378	190,653	97,916	355,776	185,124
東部ヨーロッパ	39,355	149,624	57,545	32,327	118,508	47,839
北部ヨーロッパ	19,542	68,089	28,137	19,381	68,444	36,028
南部ヨーロッパ	20,667	80,821	49,401	18,222	67,999	42,306
西部ヨーロッパ	29,472	110,845	55,571	27,986	100,824	58,951
ラテンアメリカ・カリブ海	137,395	493,712	150,460	107,470	404,373	224,385
カリブ海	8,624	29,746	9,277	6,260	23,478	11,393
中央アメリカ	42,447	145,510	40,877	33,253	123,763	70,597
南アメリカ	86,325	318,456	100,306	67,957	257,132	142,395
北部アメリカ	80,231	268,793	97,176	84,994	289,615	138,455
オセアニア	11,603	35,101	10,170	11,394	40,375	17,879

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

表9 主要地域別、年齢（3区分）別人口割合：2012年推計（中位）

（%）

地域	1950年			2010年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世	34.35	60.56	5.08	26.64	65.69	7.67
先進地域 ¹⁾	27.45	64.84	7.71	16.42	67.51	16.07
発展途上地域 ²⁾	37.63	58.53	3.84	28.87	65.29	5.83
アフリカ	41.44	55.38	3.18	41.13	55.44	3.43
東部アフリカ	43.00	54.00	2.99	44.59	52.40	3.01
中部アフリカ	41.18	55.01	3.81	45.41	51.70	2.89
北部アフリカ	40.15	56.77	3.08	31.54	63.56	4.90
南部アフリカ	38.83	57.53	3.65	30.61	64.35	5.03
西部アフリカ	41.53	55.39	3.08	43.79	53.36	2.85
アジア	36.55	59.39	4.05	25.45	67.73	6.82
東部アジア	34.87	60.69	4.44	17.72	72.62	9.65
中央アジア	32.70	61.19	6.11	29.26	65.92	4.82
南部アジア	38.08	58.37	3.54	30.92	64.15	4.94
南東部アジア	38.68	57.55	3.77	28.19	66.33	5.48
西部アジア	37.97	57.78	4.24	30.84	64.13	5.03
ヨーロッパ	26.35	65.70	7.95	15.41	68.25	16.34
東部ヨーロッパ	28.54	65.53	5.93	14.73	71.25	14.02
北部ヨーロッパ	23.71	65.92	10.37	17.49	66.05	16.46
南部ヨーロッパ	27.68	64.83	7.50	14.96	66.99	18.05
西部ヨーロッパ	23.39	66.52	10.09	15.74	65.77	18.49
ラテンアメリカ・カリブ海	40.22	56.28	3.51	28.12	65.10	6.78
カリブ海	39.46	56.59	3.96	26.59	64.93	8.48
中央アメリカ	42.54	54.00	3.45	31.48	62.75	5.78
南部アメリカ	39.54	57.00	3.46	26.92	66.08	7.01
北部アメリカ	27.21	64.57	8.22	19.51	67.32	13.17
オセアニア	29.85	62.78	7.37	23.98	65.31	10.71

地域	2050年			2100年		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
世	21.30	63.10	15.60	17.91	60.20	21.89
先進地域 ¹⁾	16.11	58.10	25.80	15.70	55.64	28.66
発展途上地域 ²⁾	22.12	63.89	13.98	18.21	60.81	20.98
アフリカ	32.22	61.92	5.85	21.68	64.29	14.03
東部アフリカ	32.28	62.31	5.41	21.26	63.21	15.52
中部アフリカ	33.85	61.78	4.37	21.36	65.39	13.25
北部アフリカ	22.91	64.98	12.11	17.37	61.06	21.57
南部アフリカ	22.00	68.03	9.97	16.78	61.80	21.42
西部アフリカ	36.11	59.81	4.08	23.39	65.78	10.83
アジア	17.91	64.64	17.45	15.60	58.44	25.95
東部アジア	14.50	60.28	25.22	15.00	55.93	29.06
中央アジア	21.90	66.50	11.60	17.39	62.58	20.04
南部アジア	19.51	67.57	12.92	15.76	59.69	24.55
南東部アジア	18.71	64.64	16.65	15.81	58.50	25.69
西部アジア	20.11	64.83	15.06	15.85	58.49	25.66
ヨーロッパ	15.38	57.73	26.89	15.33	55.69	28.98
東部ヨーロッパ	15.96	60.69	23.34	16.27	59.65	24.08
北部ヨーロッパ	16.88	58.81	24.30	15.65	55.26	29.09
南部ヨーロッパ	13.70	53.56	32.74	14.18	52.91	32.92
西部ヨーロッパ	15.05	56.59	28.37	14.91	53.70	31.40
ラテンアメリカ・カリブ海	17.58	63.17	19.25	14.60	54.92	30.48
カリブ海	18.10	62.43	19.47	15.22	57.08	27.70
中央アメリカ	18.55	63.59	17.86	14.61	54.37	31.02
南部アメリカ	17.09	63.05	19.86	14.54	55.00	30.46
北部アメリカ	17.98	60.24	21.78	16.57	56.45	26.99
オセアニア	20.40	61.72	17.88	16.36	57.97	25.67

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

変化をする。人口ピラミッドは通常そのような変遷をたどるが、本推計では将来の出生率仮定値を人口置換水準のように設定しているため、先進地域では現在の「つぼ型」から、今後の出生率の上昇に伴い最終的には「釣り鐘」に到達することになる。

(2) 地域別年齢構造の変遷

年齢構造はそれ以前における人口動態の相違を反映したものであり、地域ごとに極めて多様である。ここでは年齢構造の変遷について、15～64歳（生産年齢）人口と65歳以上（老年）人口の変化の考察を通じ、それらのピーク時の規模や水準、ならびにその到達時のタイミングに関する地域間の比較分析を行う。この分析結果をもとに、人口の年齢構造の変化が地域社会に及ぼす影響についても考えてみたい。

まずは年齢3区分別に人口の推移を観察すると（表8）、生産年齢（15～64歳）人口はこれまですべての地域で増加が観測されてきたが、今後は様相が異なる。ヨーロッパ、アジアとラテンアメリカ・カリブ海地域、オセアニア、北部アメリカの順で減少に転じると予測されている。ただし、アフリカでは2100年でも増加が続くとみられ、世界全体でも増加すると見込まれる。

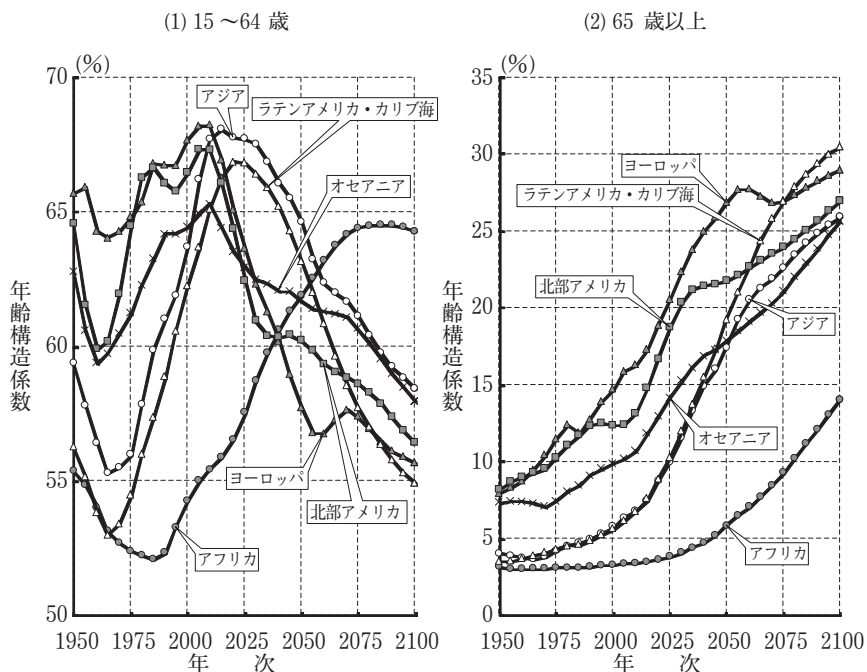
一方、老年（65歳以上）人口は世界的に今後も増加が進む。2010年の65歳以上人口（5.3億人）を基準とすると、世界全体では2050年に2.8倍（14.9億人）、2100年に4.5倍（23.8億人）になる。最も増加幅の大きい地域はアフリカで、現在の約3500万人から2050年には4.0倍（1.4億人）、2100年には16.6倍（5.9億人）になるとみられる。一方、ヨーロッパでは2055年ごろ、オセアニアでは2090年ごろをピークに減少すると推計されている。

年少（0～14歳）人口は1950年から2010年の間に世界で約10億人増加したが、出生率の低下に伴いその増加率は徐々に緩慢になっている。世界全体では2055年ごろをピークに減少が始まるとされる。早い時期から出生率低下が進行していたヨーロッパを中心とした先進地域では、1960年代から年少人口が減少を始めており、アジアでは1995年、ラテンアメリカ・カリブ海地域では2005年をピークにすでに減少基調にある。長期的にはアフリカや北部アメリカでも年少人口の減少が見込まれる。

次に、主要地域ごとに年齢構造の変化をみてみよう。生産年齢人口割合、すなわち総人口に占める15～64歳人口の割合は、社会・経済活動に従事する可能性が比較的高い年齢層であり、当該地域における労働力人口の豊富さや社会・経済的な扶養負担（従属関係）を表す重要な指標でもある。すなわち、この年齢層の人口割合が高い社会では経済成長や社会保障等の制度設計に有利な状況にあると考えられている⁵⁾。1950年時点でこの割合が最も高かった地域はヨーロッパで65.7%、次いで北部アメリカやオセアニアという先進地域が続いていた（表9、図6(1)）。その一方でアフリカ、ラテンアメリカ・カリブ海地域ではこの割合が低かった（それぞれ55.4%と56.3%）。ヨーロッパや北部アメリカでは同割合が1960年代半ばまで低下した後再び上昇し、北部アメリカでは2005年、ヨーロッパで

5) 人口転換に伴う年齢構造の変化によって、生産年齢人口割合が高くなる時期が生じる。そのような現象が社会・経済に及ぼすプラスの効果をいわゆる「人口ボーナス」ということがある。

図6 主要地域別年齢構造割合：2012年推計（中位）



は2010年ごろ、それぞれ67.3、68.3%でピークを迎える。アジアとラテンアメリカ・カリブ海地域では、1970年代以降上昇が続いており2010年にはそれぞれ67.7%、65.1%であった。今後、アジアが2015年、ラテンアメリカ・カリブ海地域が2020年ごろに、それぞれ68.1%と66.9%でピークを迎えるとみられる。この両地域において生産年齢人口割合がピークを迎える時期はヨーロッパや北部アメリカに比べて約10～20年遅くなるものの、その水準はヨーロッパのピーク時のそれとそれほど変わらない。一方、アフリカでは今後緩やかに上昇を続け、2090年ごろ64.5%でピークに達する。地域別に観測される生産年齢人口割合の違いは、それぞれの地域の労働環境や経済成長の動向に大きな影響を及ぼすと考えられる。

次に、人口高齢化の状態を示す代表的な指標である総人口に占める老年（65歳以上）人口割合を地域別にみると（表9、図6(2)）、2010年現在ではヨーロッパ地域が16%を超えており、続いて北部アメリカとオセアニアがそれぞれ13%、11%となっている。今後、世界的に出生率の低下が進むとみられることから、2050年、2100年における65歳以上人口割合はすべての地域において現在よりも高くなると見込まれる。特に、ラテンアメリカ・カリブ海とアジアにおける人口高齢化は、他の地域に比べ急速に進行する。両地域の現在の割合は7%に満たないが、2050年にはそれぞれ19.3%、17.4%になる。さらに2100年には両地域とも25%を超え、ラテンアメリカ・カリブ海では30.5%と、世界で最も高齢化率の高い地域になる。

生産年齢人口が年少人口ならびに老年人口を支える度合い、すなわち扶養負担の程度を測る指標として従属人口指数が用いられる。その従属人口指数は、1950年時点では先進地

表10 主要地域別従属人口指数：2012年推計（中位）

地 域	1950年			2010年		
	総数	年少	老年	総数	年少	老年
世	65.12	56.72	8.40	52.22	40.55	11.68
先進地域 ¹⁾	54.23	42.34	11.89	48.12	24.31	23.81
発展途上地域 ²⁾	70.84	64.28	6.56	53.15	44.22	8.93
アフリカ	80.56	74.82	5.73	80.38	74.19	6.19
東部アフリカ	85.17	79.63	5.54	90.85	85.10	5.75
中部アフリカ	81.78	74.86	6.92	93.44	87.84	5.60
北部アフリカ	76.15	70.73	5.42	57.33	49.63	7.71
南部アフリカ	73.83	67.49	6.34	55.39	47.57	7.82
西部アフリカ	80.54	74.98	5.56	87.41	82.07	5.34
アジア	68.37	61.54	6.83	47.65	37.58	10.07
東部アジア	64.77	57.46	7.31	37.69	24.40	13.29
中央アジア	63.43	53.43	9.99	51.69	44.38	7.31
南部アジア	71.31	65.24	6.07	55.89	48.20	7.69
南東部アジア	73.77	67.22	6.56	50.76	42.49	8.26
西部アジア	73.06	65.72	7.34	55.94	48.10	7.84
ヨーロッパ	52.21	40.11	12.10	46.51	22.57	23.94
東部ヨーロッパ	52.61	43.56	9.05	40.35	20.67	19.68
北部ヨーロッパ	51.70	35.97	15.73	51.41	26.49	24.92
南部ヨーロッパ	54.26	42.70	11.56	49.28	22.33	26.95
西部ヨーロッパ	50.34	35.17	15.17	52.05	23.93	28.12
ラテンアメリカ・カリブ海	77.70	71.46	6.24	53.61	43.20	10.41
カリブ海	76.71	69.72	6.99	54.01	40.96	13.05
中央アメリカ	85.18	78.78	6.40	59.37	50.16	9.20
南アメリカ	75.43	69.36	6.07	51.34	40.73	10.61
北部アメリカ	54.86	42.14	12.72	48.54	28.98	19.57
オセアニア	59.28	47.54	11.74	53.13	36.72	16.41

地 域	2050年			2100年		
	総数	年少	老年	総数	年少	老年
世	58.47	33.76	24.72	66.12	29.76	36.36
先進地域 ¹⁾	72.13	27.72	44.41	79.73	28.22	51.52
発展途上地域 ²⁾	56.51	34.62	21.89	64.44	29.95	34.50
アフリカ	61.49	52.03	9.45	55.55	33.73	21.83
東部アフリカ	60.50	51.81	8.69	58.19	33.64	24.56
中部アフリカ	61.86	54.79	7.07	52.92	32.67	20.26
北部アフリカ	53.88	35.25	18.63	63.76	28.45	35.32
南部アフリカ	47.00	32.35	14.66	61.82	27.16	34.66
西部アフリカ	67.19	60.36	6.82	52.01	35.56	16.46
アジア	54.71	27.71	26.99	71.10	26.70	44.41
東部アジア	65.89	24.05	41.84	78.79	26.83	51.96
中央アジア	50.38	32.93	17.45	59.80	27.79	32.02
南部アジア	48.00	28.88	19.13	67.53	26.40	41.13
南東部アジア	54.71	28.95	25.76	70.94	27.03	43.91
西部アジア	54.25	31.02	23.23	70.98	27.11	43.87
ヨーロッパ	73.21	26.63	46.57	79.56	27.52	52.03
東部ヨーロッパ	64.76	26.30	38.46	67.65	27.28	40.37
北部ヨーロッパ	70.02	28.70	41.32	80.96	28.32	52.64
南部ヨーロッパ	86.70	25.57	61.12	89.01	26.80	62.21
西部ヨーロッパ	76.72	26.59	50.13	86.23	27.76	58.47
ラテンアメリカ・カリブ海	58.30	27.83	30.48	82.07	26.58	55.49
カリブ海	60.18	28.99	31.19	75.19	26.66	48.53
中央アメリカ	57.26	29.17	28.09	83.91	26.87	57.04
南アメリカ	58.60	27.11	31.50	81.81	26.43	55.38
北部アメリカ	66.00	29.85	36.15	77.15	29.35	47.81
オセアニア	62.03	33.06	28.97	72.50	28.22	44.28

年少（従属）人口指数 = 0～14歳人口 / 15～64歳人口 × 100

老年（従属）人口指数 = 65歳以上人口 / 15～64歳人口 × 100

従属人口指数（総数） = 年少（従属）人口指数 + 老年（従属）人口指数

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

域で低く、発展途上地域で高かった（表10）。これは、年少人口割合の違いによるもので、出生率の相対的に高い地域において顕著に年少従属人口指数が高いことに起因していた。その後世界全体の出生率が減少するなか、ほとんどの地域で従属人口指数は減少したが、先進地域では老年従属人口指数の上昇が始まったことで、全体的な従属人口指数が上昇を始めた。特にヨーロッパでは老年人口が年少人口を上回り、今後さらに老年人口指数の上昇が続くとみられている。

2. 出生および死亡に関する分析

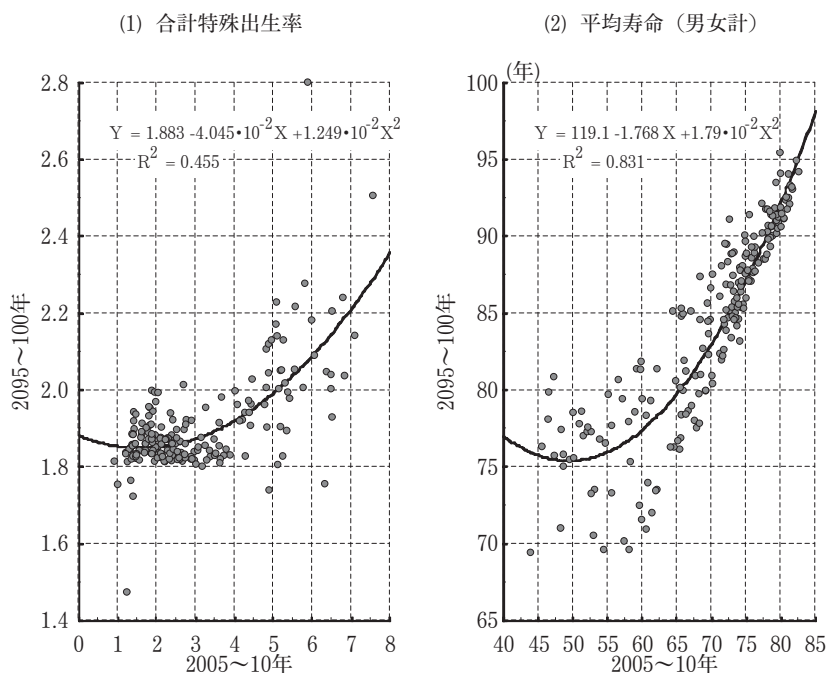
(1) 実績値と仮定値の関係からみた今後の傾向

出生と死亡それぞれの実績値と到達年次における関係を散布図によってみてみよう（図7(1)）。

まず、出生についてみると、1950～55年の合計特殊出生率が概ね5以下の国・地域では2005～10年までに2前後の水準にまで低下しているケースが多く見受けられる一方で、5以上の国・地域では2005～10年時点での出生率が広範囲に分布していることが分かる。将来の出生仮定値に関しては、現在広範囲に分布する出生率がいずれの国・地域においても人口置換水準前後の水準に収斂するとされている。その結果、2005～10年時点での出生率が低い国・地域では人口置換水準まで回復し、現在の出生水準が高い国・地域では大幅な低下が起こる。

次に死亡についてみてみよう（図7(2)）。1950～55年時点の水準にかかわらず、ほとんどの国と地域で2005～10年までの平均寿命が延びている。ただし、1950～55年時点の平均

図7 各仮定値における現在値と将来値：2012年推計



寿命がすでに長い国・地域では概ね10年程度の伸長がみられるが、寿命が短い国・地域ほど2005～2010年までの変化の幅に開きがあり、なかには30年以上の伸長を示すケースがある一方で、寿命が短いまま低迷しているケースも観測される。将来の死亡仮定に関しては、現在の寿命が75歳以上の国や地域で概ね5年程度の更なる伸長が見込まれており、現在の水準が75歳よりも低いケースでは2060～65年までの伸びが大きくなっている。平均寿命の短縮は想定されておらず、国・地域間の平均寿命の格差は小さくなる。

(2) 合計特殊出生率と人口置換水準の関係

人口置換水準は、人口を維持するために必要な合計特殊出生率であり、それは出生率パターンと死亡水準等を反映して決まる指標である。そのため、人口置換水準の下限値はほぼ2.1であり、各国、地域の死亡水準によってその水準に差が生じる。

そこで、現実の出生率と人口置換水準との関係をみたものが表11である。1950～55年では現実の出生率が人口置換水準以上の国・地域が195と、対象となる201か国・地域中の97%を占めていた。死亡水準に関わらず、ほとんどの国と地域において人口が増加する潜在力のある高い出生率であったことを意味している。その後、現実の出生率が人口置換水準を上回る国・地域は減少し、2010～15年には59.2%になると予測される。世界的に死亡率が低下傾向にあり、人口置換水準の高い国・地域が少なくなる一方で、かつてより低い人口置換水準を下回る低出生率の国が増えていることが要因である。今回の国連推計では、2050～55年で人口置換水準以上の国・地域の割合が28.9%、2095～2100年で7.0%にまで減少するとされている。

表11 合計特殊出生率が置換水準以上の国の割合：2012年推計（中位）

人口置換水準 ¹⁾	1950～		1960～		1970～		1980～		1990～		2000～		2010～		2050～		2095～		
	55年	65年	75年	85年	95年	05年	15年	55年	65年	75年	85年	95年	05年	15年	55年	65年	75年	85年	
総数	97.0	97.0	90.0	80.1	72.6	62.7	59.2	28.9	7.0										
2.2未満	2.5	10.4	12.9	16.4	17.9	19.9	20.9	16.4	7.0										
2.2	7.5	11.9	18.9	15.4	16.4	11.4	13.4	9.5	0.0										
2.3	8.5	10.9	9.0	9.5	8.5	5.5	7.5	2.5	0.0										
2.4	10.4	11.9	6.5	8.0	5.0	6.0	6.0	0.5	0.0										
2.5	7.5	5.0	5.5	6.0	6.5	3.5	3.5	0.0	0.0										
2.6	5.5	3.5	7.0	4.5	5.0	4.5	4.0	0.0	0.0										
2.7	5.5	4.5	4.5	4.0	1.0	3.0	3.0	0.0	0.0										
2.8	4.0	4.0	5.5	5.0	3.0	3.0	0.5	0.0	0.0										
2.9	4.0	4.5	3.0	3.0	3.0	5.0	0.0	0.0	0.0										
3.0～3.5未満	20.4	18.4	13.4	8.0	5.5	1.0	0.5	0.0	0.0										
3.5以上	21.4	11.9	4.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

UN, *World Population Prospects: The 2012 Revision*（中位推計）に出生率が掲載されている201か国について、

1) 人口置換水準は合計特殊出生率（TFR）を純再生産率（NRR）で除して算出。小数点以下第2位を四捨五入。

(3) 人口転換

出生と死亡、ならびに自然増加の時系列変遷により、いわゆる人口転換の状況が地域によってどのように異なっているのかを考察する。

まず、先進地域の人口動態率の推移をみると、出生率は1950～55年の22.4‰から2005～2010年の11.4‰まで低下したが、死亡率は10‰前後で推移しており安定している（表12、図8）。すなわち、先進地域は人口転換理論における第Ⅰ期（高出生・高死亡）や第Ⅱ期（高出生・低死亡）をすでに経験したのち、第Ⅱ期から第Ⅲ期（低出生・低死亡）への移行期にあるとみることができる。そして国連推計においては、1995年以降は出生率、死亡率の水準はともに安定し、自然増加率も今後ほぼ一定水準で推移するとしている。

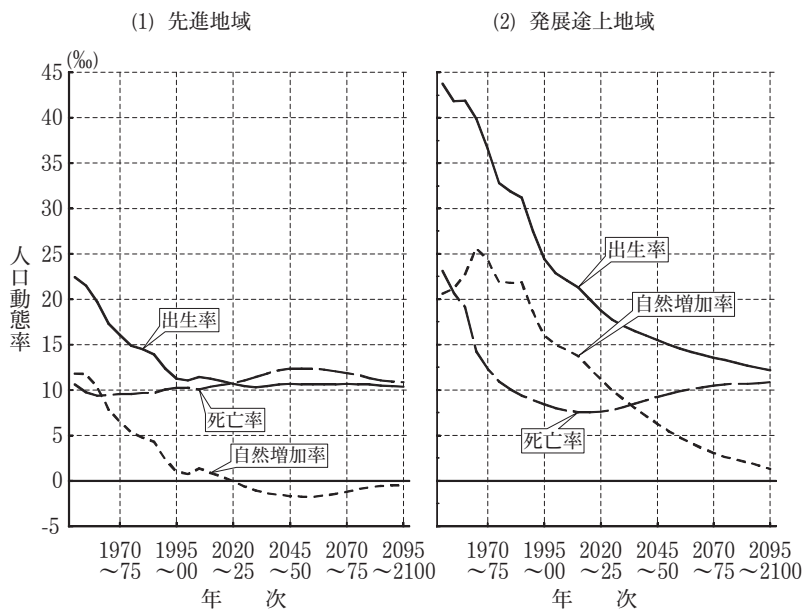
同様に発展途上地域についてみると、出生率は1950～55年の43.7‰から2005～10年の22‰までほぼ直線的に低下してきた。その後低下速度はやや緩やかになると仮定されているが、2095～100年の12.2‰まで低下が続くとされている。一方、死亡率は1950～55年の23.1‰から低下し、推計では2015～20年に7.5‰で底を打つとされている。この間の自然増加率をみると1965～70年を頂点とする山型の曲線を描いている。この1950～80年代にかけての高い人口増加率は人口転換理論の第Ⅰ期から第Ⅱ期への移行、すなわち高出生率のまま死亡率のみ急激に低下したことに起因すると解釈できる。なお、人口転換による第Ⅲ期は出生率、死亡率とも低水準で安定し、自然増加率もほぼゼロの状態とされるが、現状では発展途上地域において未だこの兆しがみられない。推計では2100年に向けてこの状態に近づくとされている。

表12 人口動態率：2012年推計（中位）

年次	世界			先進地域 ¹⁾			発展途上地域 ²⁾		
	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率	出生率	死亡率	自然増加率
1950～55	37.0	19.1	17.8	22.4	10.6	11.8	43.7	23.1	20.6
1955～60	35.6	17.3	18.3	21.5	9.7	11.8	41.8	20.7	21.2
1960～65	35.3	16.2	19.1	19.7	9.4	10.3	41.9	19.1	22.8
1965～70	33.5	12.9	20.6	17.3	9.4	7.8	39.9	14.2	25.6
1970～75	31.1	11.6	19.6	16.0	9.6	6.5	36.6	12.3	24.3
1975～80	28.3	10.6	17.7	14.9	9.6	5.3	32.8	10.9	21.9
1980～85	27.8	10.0	17.8	14.5	9.7	4.8	31.9	10.0	21.8
1985～90	27.4	9.4	18.0	13.9	9.7	4.3	31.2	9.4	21.9
1990～95	24.3	9.1	15.2	12.4	10.0	2.4	27.5	8.8	18.6
1995～00	21.8	8.8	13.0	11.2	10.2	1.0	24.4	8.4	16.0
2000～05	20.6	8.4	12.2	11.1	10.3	0.8	22.9	8.0	14.9
2005～10	20.1	8.1	12.0	11.4	10.0	1.4	22.0	7.7	14.4
2010～15	19.5	8.1	11.5	11.2	10.4	0.9	21.3	7.6	13.7
2015～20	18.5	8.1	10.4	11.0	10.6	0.5	20.0	7.5	12.4
2020～25	17.4	8.1	9.3	10.7	10.8	-0.1	18.7	7.6	11.1
2025～30	16.6	8.3	8.3	10.4	11.0	-0.6	17.8	7.8	9.9
2030～35	16.1	8.6	7.4	10.3	11.4	-1.1	17.1	8.1	8.9
2035～40	15.6	9.0	6.6	10.5	11.8	-1.4	16.5	8.5	8.0
2040～45	15.2	9.4	5.9	10.6	12.2	-1.6	16.0	8.9	7.1
2045～50	14.8	9.7	5.1	10.7	12.4	-1.7	15.5	9.3	6.2
2050～55	14.4	9.9	4.5	10.6	12.4	-1.8	15.0	9.6	5.4
2055～60	14.0	10.2	3.9	10.6	12.3	-1.7	14.6	9.8	4.7
2060～65	13.7	10.4	3.4	10.6	12.2	-1.6	14.2	10.1	4.1
2065～70	13.5	10.5	2.9	10.6	12.1	-1.4	13.9	10.3	3.6
2070～75	13.2	10.7	2.5	10.7	11.9	-1.2	13.6	10.5	3.1
2075～80	13.0	10.8	2.2	10.7	11.6	-0.9	13.3	10.6	2.6
2080～85	12.7	10.8	1.9	10.6	11.3	-0.7	13.0	10.7	2.3
2085～90	12.4	10.7	1.7	10.5	11.1	-0.6	12.7	10.7	2.0
2090～95	12.2	10.8	1.4	10.4	10.9	-0.5	12.4	10.7	1.7
2095～2100	12.0	10.9	1.1	10.4	10.9	-0.6	12.2	10.9	1.3

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図8 人口動態率：2012年推計（中位）



Ⅲ. 2012年推計と過去の推計との比較

(1) 出生仮定値の比較

ここでは、2000年以降の推計のなかで用いられた中位の合計特殊出生率の比較を行うことにより、出生仮定の変遷を考察する（表13、図9）。

世界全体についてみると、今回2012年推計における2005～10年の出生率が2.53なのに対し、過去の各回推計の仮定値には若干の違いがみられる。これは、各回の推計時点で利用可能な最新のデータを用いて過去の数値も見直されるために生じる必然的な変更である。2045～50年時点の仮定された出生率は2008年推計と前回2010年推計との間で大きな乖離がある。これは、2010年推計から推計期間をそれまでの2050年から50年間延長し2100年までにしたことが影響している。2008年推計までは推計の最終年次である2050年をターゲットに出生率が概ね人口置換水準にまで低下するという仮定設定になっていたが、前回2010年推計と今回2012年推計では2100年にまで最終年次が大幅に伸びたこともあり、途中年次である2045～50年の出生率はそれ以前に比べかなり高い水準になっている。なお、今回（2012年）推計では2045～50年の出生率が2.24であるのに対し、前回（2010年）推計では2.17と0.07ポイントの違いがある。ただし、2095～100年の出生率は2012年推計が1.99であり、2010年推計の2.03と比して逆に0.04ポイント低く設定されている。

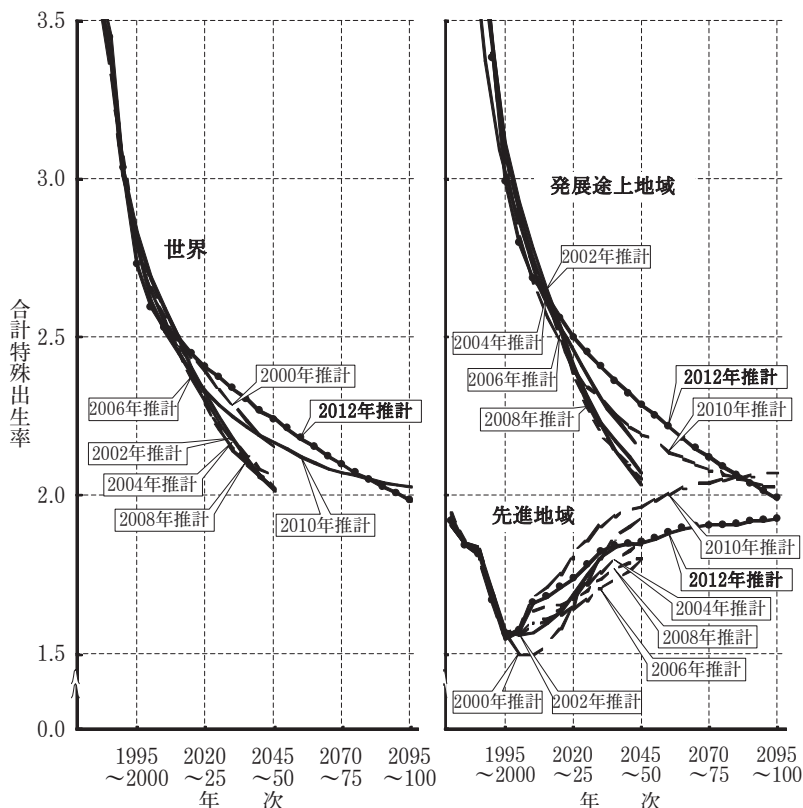
先進地域の出生率においては、推計基準時点における人口置換水準以下の低い水準から将来に向けてある一定の水準にまで回復する、というシナリオが過去の推計においても共通して採用されている。ただし、回復の速度や到達水準は推計回ごとに異なっている。2045～2050年の出生率は、2050年が推計の最終年次であった直近の2006、2008年推計にお

表13 推計実施年別にみた合計特殊出生率（中位推計）の仮定値

年次	1996年推計	1998年推計	2000年推計	2002年推計	2004年推計	2006年推計	2008年推計	2010年推計	2012年推計
世界									
1950～55	5.00	4.99	5.01	5.02	5.02	5.02	4.92	4.95	4.97
1955～60	4.93	4.92	4.95	4.95	4.96	4.96	4.81	4.89	4.91
1960～65	4.95	4.95	4.97	4.97	4.97	4.98	4.91	4.91	5.02
1965～70	4.90	4.91	4.90	4.91	4.91	4.90	4.78	4.85	4.85
1970～75	4.48	4.48	4.48	4.48	4.49	4.47	4.32	4.45	4.44
1975～80	3.92	3.92	3.90	3.90	3.92	3.92	3.83	3.84	3.85
1980～85	3.58	3.58	3.56	3.57	3.58	3.58	3.61	3.59	3.60
1985～90	3.36	3.34	3.35	3.37	3.38	3.38	3.43	3.39	3.45
1990～95	2.96	2.93	3.01	3.03	3.04	3.05	3.08	3.04	3.04
1995～00	2.79	2.71	2.82	2.83	2.79	2.80	2.82	2.79	2.73
2000～05	2.66	2.57	2.68	2.69	2.65	2.65	2.67	2.62	2.60
2005～10	2.55	2.44	2.59	2.59	2.55	2.55	2.57	2.52	2.53
2010～15	2.45	2.35	2.50	2.50	2.47	2.46	2.49	2.45	2.50
2015～20	2.40	2.29	2.44	2.41	2.38	2.37	2.40	2.39	2.45
2020～25	2.35	2.23	2.39	2.33	2.31	2.29	2.30	2.33	2.41
2025～30	2.27	2.17	2.34	2.25	2.23	2.21	2.22	2.29	2.37
2030～35	2.20	2.10	2.28	2.18	2.17	2.14	2.15	2.25	2.34
2035～40	2.13	2.05	2.24	2.12	2.13	2.10	2.10	2.22	2.31
2040～45	2.09	2.03	2.20	2.06	2.09	2.06	2.06	2.19	2.27
2045～50	2.09	2.03	2.15	2.02	2.05	2.02	2.02	2.17	2.24
⋮								⋮	⋮
2095～2100								2.03	1.99
先進地域 ¹⁾									
1950～55	2.77	2.77	2.84	2.84	2.84	2.84	2.82	2.81	2.83
1955～60	2.77	2.77	2.82	2.82	2.82	2.82	2.78	2.78	2.81
1960～65	2.67	2.67	2.68	2.68	2.69	2.69	2.67	2.66	2.68
1965～70	2.36	2.36	2.37	2.37	2.37	2.37	2.37	2.36	2.39
1970～75	2.11	2.11	2.13	2.13	2.13	2.13	2.17	2.16	2.15
1975～80	1.91	1.91	1.91	1.91	1.91	1.91	1.94	1.93	1.92
1980～85	1.84	1.84	1.85	1.85	1.85	1.85	1.86	1.85	1.84
1985～90	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.83	1.82	1.81	1.81
1990～95	1.68	1.68	1.69	1.69	1.68	1.68	1.67	1.66	1.67
1995～00	1.59	1.57	1.57	1.58	1.55	1.56	1.56	1.56	1.56
2000～05	1.60	1.56	1.50	1.56	1.56	1.56	1.58	1.58	1.58
2005～10	1.67	1.59	1.50	1.57	1.59	1.60	1.64	1.66	1.66
2010～15	1.74	1.65	1.52	1.60	1.61	1.61	1.65	1.71	1.68
2015～20	1.80	1.71	1.58	1.64	1.64	1.62	1.66	1.75	1.71
2020～25	1.86	1.75	1.65	1.69	1.68	1.64	1.67	1.80	1.74
2025～30	1.91	1.78	1.73	1.75	1.72	1.67	1.70	1.86	1.78
2030～35	1.96	1.80	1.80	1.81	1.76	1.70	1.74	1.90	1.82
2035～40	2.00	1.81	1.86	1.84	1.80	1.73	1.77	1.93	1.84
2040～45	2.03	1.82	1.90	1.85	1.83	1.76	1.79	1.95	1.85
2045～50	2.06	1.82	1.92	1.85	1.84	1.79	1.80	1.97	1.85
⋮								⋮	⋮
2095～2100								2.07	1.93
発展途上地域 ²⁾									
1950～55	6.17	6.16	6.16	6.16	6.17	6.15	6.00	6.07	6.08
1955～60	5.99	5.99	6.01	6.01	6.02	6.01	5.80	5.94	5.95
1960～65	6.01	6.01	6.03	6.03	6.03	6.04	5.94	5.97	6.11
1965～70	6.00	6.01	6.01	6.01	6.02	6.00	5.82	5.94	5.93
1970～75	5.42	5.43	5.42	5.42	5.44	5.41	5.18	5.37	5.36
1975～80	4.65	4.65	4.62	4.63	4.65	4.65	4.53	4.54	4.57
1980～85	4.14	4.15	4.12	4.13	4.15	4.15	4.19	4.16	4.18
1985～90	3.81	3.79	3.80	3.83	3.84	3.84	3.89	3.85	3.92
1990～95	3.30	3.27	3.37	3.40	3.41	3.42	3.43	3.39	3.38
1995～00	3.08	3.00	3.10	3.11	3.10	3.11	3.10	3.06	2.99
2000～05	2.89	2.80	2.92	2.92	2.90	2.90	2.89	2.82	2.80
2005～10	2.73	2.61	2.79	2.78	2.75	2.75	2.73	2.68	2.69
2010～15	2.58	2.48	2.66	2.65	2.63	2.62	2.62	2.57	2.63
2015～20	2.50	2.39	2.56	2.53	2.52	2.51	2.50	2.48	2.56
2020～25	2.42	2.31	2.49	2.41	2.41	2.40	2.39	2.40	2.50
2025～30	2.32	2.22	2.41	2.31	2.31	2.30	2.28	2.35	2.45
2030～35	2.24	2.15	2.34	2.22	2.23	2.21	2.20	2.30	2.41
2035～40	2.15	2.08	2.28	2.14	2.17	2.15	2.14	2.26	2.36
2040～45	2.10	2.06	2.23	2.09	2.12	2.10	2.09	2.22	2.32
2045～50	2.10	2.06	2.17	2.04	2.07	2.05	2.05	2.19	2.29
⋮								⋮	⋮
2095～2100								2.02	1.99

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

図9 推計実施年別にみた合計特殊出生率（中位推計）の仮定値



いて1.8に設定されていたが、2004年以前の推計ではそれらより若干高く、2010年、2012年推計でも比較的高く設定されている。特に、今回の推計では2045～50年が1.85、最終年次の2095～100年が1.93である。先進地域における出生率の回復は必ずしも人口置換水準に到達するものではないという分析結果が、先進国の出生仮定に反映されているものと思われる。前回推計では、2095～100年における先進地域の出生率が2.07と高く設定されており、途中年次の2045～50年でも1.97と他の推計回と比べて著しく高水準である。

一方、発展途上地域の出生率は、先進地域とは逆に、推計基準時点での高い水準から将来に向けてある一定の水準にまで低下するという仮定設定となっている。ただし、ここでも低下の速度や到達水準は推計回ごとに異なっている。今回推計では最終年次（2095～100年）における出生率は人口置換水準より低い1.99と、前回推計の2.02に比して若干低めであったが、途中年次2045～50年では2.29と逆に前回推計の2.19よりも0.1ポイントも高くなっている。発展途上地域における出生率低下が急速には進まない可能性を示唆する仮定設定となっている。2008年推計以前における発展途上国の出生仮定は、推計最終年次の2045～50年までに人口置換水準に近づける設定であることから、2045～50年時点での出生水準は2010年、2012年推計と比べると必然的に低くなっている。

なお、前回推計では2095～100年時点で先進地域の出生率（2.07）が、発展途上地域のそれ（2.02）を0.05ポイント上回っていたが、今回は発展途上地域（1.99）が先進地域

(1.93) よりも0.06ポイント高くなっている。

(2) 死亡仮定値の比較

死亡率の仮定値は、将来の生命表を作成しその生残率を推計に用いている。そこで、生命表の代表的な指標である平均寿命について、2000年推計以降各回の仮定値についてみてみよう（表14，図10）。平均寿命の仮定値は、2002年，2004年推計において比較的短く設定されているが，それ以外の推計回では概ね似た傾向と水準で推移している。今回2012年推計では，これまでの推計における平均寿命のなかで最も長い水準の仮定値となっている。前回（2010年）推計と比べても，2095～100年までの長期的な寿命の伸びが大きく設定されている。とりわけ先進地域では，平均寿命の伸びる速度が過去の推計に比べて最も速く，その水準も最も長く設定されている。

先進地域と発展途上地域との間の平均寿命の差は，過去の推計においてさまざまな値が示されているが，基本的には寿命の伸長にともなって両者の格差は縮小するとしている。今回2012年推計でも，1950～1955年における23歳の差から2005～10年の10歳まで縮小した実績を受けて，2045～50年までに両者の差が8歳になり，2095～100年まで8歳差が続くとしている。

図10 推計実施年別にみた（男女計）平均寿命の仮定値

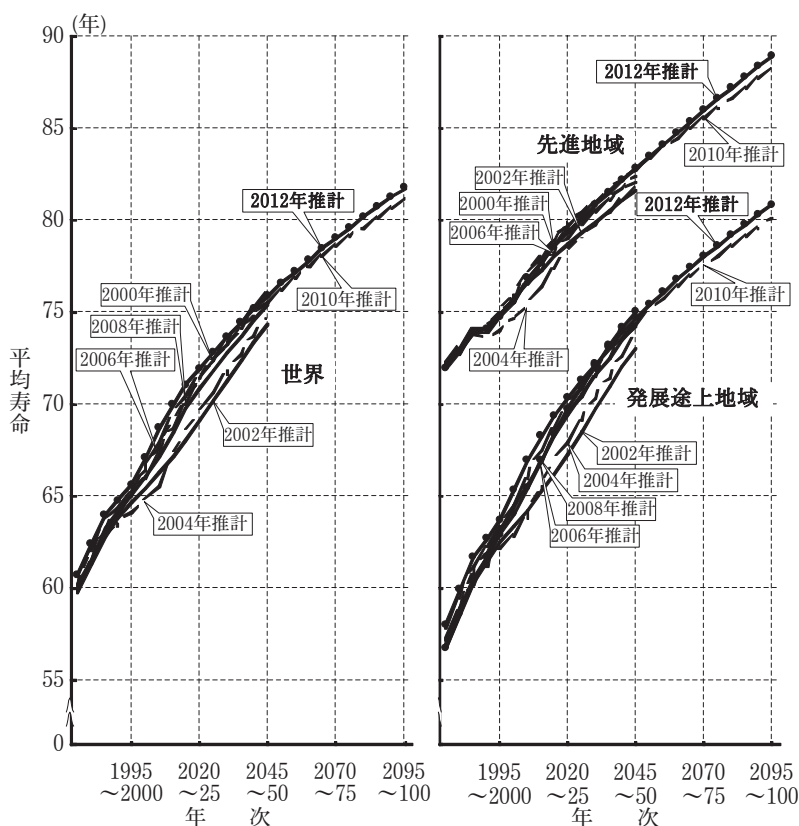


表14 推計実施年別にみた平均寿命（男女計）の仮定値

(年)

年次	1996年推計	1998年推計	2000年推計	2002年推計	2004年推計	2006年推計	2008年推計	2010年推計	2012年推計
世界									
1950～55	46.5	46.5	46.5	46.5	46.3	46.4	46.6	47.7	46.9
1955～60	49.6	49.6	49.6	49.6	49.5	49.3	49.5	49.8	49.4
1960～65	52.3	52.4	52.4	52.4	52.3	52.2	52.4	51.2	51.1
1965～70	56.0	56.0	56.1	56.1	56.2	56.1	56.1	56.5	56.5
1970～75	57.9	58.0	58.0	58.0	58.2	58.3	58.2	58.5	58.8
1975～80	59.7	59.8	59.8	59.8	59.9	60.2	60.2	60.7	60.7
1980～85	61.3	61.4	61.4	61.3	61.3	61.6	61.7	62.1	62.4
1985～90	63.1	63.1	63.0	62.9	62.7	63.3	63.2	63.6	64.0
1990～95	64.3	64.1	63.9	63.8	63.4	64.2	64.0	64.4	64.8
1995～00	65.6	65.4	65.0	64.6	64.1	65.2	65.2	65.2	65.6
2000～05	66.9	66.5	66.0	65.4	64.7	66.0	66.4	66.4	67.1
2005～10	68.3	67.8	67.3	66.3	65.6	67.2	67.6	67.9	68.7
2010～15	69.7	69.3	68.7	67.2	67.1	68.5	68.9	69.3	70.0
2015～20	70.9	70.6	70.0	68.1	68.3	69.8	70.1	70.4	71.0
2020～25	72.1	71.9	71.3	69.1	69.5	70.9	71.1	71.4	71.9
2025～30	73.1	73.1	72.4	70.2	70.6	71.9	72.1	72.4	72.8
2030～35	74.1	74.1	73.4	71.3	71.7	72.8	73.1	73.3	73.7
2035～40	75.1	75.0	74.4	72.4	72.7	73.7	73.9	74.1	74.4
2040～45	75.9	75.7	75.3	73.4	73.7	74.6	74.8	74.9	75.2
2045～50	76.6	76.3	76.0	74.3	74.7	75.4	75.6	75.6	75.9
⋮								⋮	⋮
2095～2100								81.1	81.8
先進地域 ¹⁾									
1950～55	66.5	66.6	66.2	66.1	66.3	66.1	66.0	65.9	64.7
1955～60	68.5	68.5	68.4	68.3	68.4	68.3	68.3	68.2	67.7
1960～65	69.8	69.8	69.7	69.7	69.7	69.8	69.8	69.7	69.4
1965～70	70.5	70.5	70.6	70.6	70.7	70.6	70.5	70.5	70.3
1970～75	71.2	71.2	71.4	71.4	71.3	71.3	71.3	71.2	71.1
1975～80	72.2	72.1	72.3	72.3	72.2	72.2	72.1	72.1	72.0
1980～85	73.0	73.0	73.1	72.9	72.8	72.8	72.9	72.9	72.8
1985～90	74.0	74.1	74.1	73.9	73.8	73.9	74.0	74.0	73.9
1990～95	74.2	74.1	74.1	74.0	73.5	74.0	74.1	74.1	74.1
1995～00	74.5	74.9	74.9	74.8	74.0	74.8	75.0	74.8	74.7
2000～05	75.3	75.7	75.6	75.8	74.6	75.6	75.8	75.6	75.6
2005～10	76.1	76.5	76.7	76.6	75.2	76.5	77.1	76.9	76.9
2010～15	76.9	77.3	77.7	77.3	76.4	77.3	78.0	78.0	77.7
2015～20	77.7	78.0	78.6	78.0	77.4	78.2	78.9	78.8	78.6
2020～25	78.3	78.6	79.3	78.7	78.3	79.0	79.7	79.6	79.4
2025～30	78.9	79.2	80.0	79.4	79.1	79.8	80.4	80.3	80.1
2030～35	79.5	79.7	80.6	79.9	79.8	80.5	81.0	81.0	80.8
2035～40	80.0	80.2	81.1	80.5	80.4	81.1	81.6	81.6	81.5
2040～45	80.5	80.7	81.6	81.1	81.1	81.8	82.2	82.2	82.2
2045～50	81.0	81.2	82.1	81.6	81.7	82.4	82.8	82.7	82.8
⋮								⋮	⋮
2095～2100								88.2	88.9
発展途上地域 ²⁾									
1950～55	40.9	40.9	41.0	41.0	40.9	40.8	41.0	42.3	41.6
1955～60	44.4	44.3	44.4	44.4	44.2	43.9	44.2	44.5	44.2
1960～65	47.7	47.7	47.7	47.7	47.6	47.4	47.5	46.1	46.0
1965～70	52.2	52.2	52.3	52.3	52.4	52.2	52.2	52.6	52.8
1970～75	54.7	54.7	54.7	54.7	54.9	55.0	54.9	55.2	55.8
1975～80	56.7	56.8	56.8	56.8	57.0	57.2	57.2	57.8	58.0
1980～85	58.6	58.6	58.6	58.5	58.6	58.8	59.0	59.5	60.0
1985～90	60.6	60.5	60.4	60.3	60.2	60.7	60.6	61.2	61.7
1990～95	62.1	61.9	61.7	61.5	61.2	62.0	61.7	62.3	62.7
1995～00	63.6	63.3	62.9	62.5	62.2	63.2	63.1	63.3	63.7
2000～05	65.1	64.5	64.1	63.4	62.8	64.1	64.4	64.5	65.3
2005～10	66.7	66.0	65.5	64.3	63.8	65.4	65.6	66.0	67.0
2010～15	68.2	67.6	67.0	65.3	65.4	66.8	67.0	67.5	68.3
2015～20	69.5	69.2	68.4	66.2	66.7	68.2	68.3	68.7	69.4
2020～25	70.8	70.6	69.7	67.3	67.9	69.4	69.4	69.8	70.4
2025～30	72.0	71.9	70.9	68.5	69.2	70.5	70.5	70.8	71.3
2030～35	73.1	73.0	72.1	69.8	70.3	71.5	71.6	71.8	72.2
2035～40	74.1	74.0	73.2	71.0	71.5	72.5	72.6	72.7	73.1
2040～45	75.1	74.8	74.2	72.1	72.6	73.4	73.5	73.6	73.9
2045～50	75.8	75.5	75.0	73.1	73.6	74.3	74.3	74.4	74.7
⋮								⋮	⋮
2095～2100								80.1	80.8

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域。2) 先進地域以外の地域。

(3) 人口総数の比較

次に各回の人口総数（中位推計）について比較してみよう（表15、図11）。

2000年推計以降、各回の世界人口の推移をみると、同じ年次の推計値にも違いがみられる。例えば、2025年の人口は2002年推計では78.5億人と推計されているが、2012年推計では80.8億人となっており、2億人強の差がある。推計結果はそれぞれの回で用いられている推計方法や仮定値の設定の仕方によって異なるため、一定の傾向がみられるわけではない。ただし、今回2012年推計では前回2010年推計と比較して、将来の出生率が発展途上地域で高く設定されていること、平均寿命は先進地域、発展途上地域ともに長く設定されていることから、推計結果である人口総数の差も顕著である。2050年時点における人口は、2010年推計で93億人、2012年推計で95.5億人と2.5億人程度の差があり、2100年の人口では、2010年推計で101.3億人、2012年推計で108.5億人と、7.3億人の差がみられる。2つの推計結果における世界人口の差は、主に発展途上地域の推計結果の差に起因している。2050年時点での発展途上地域の人口は、2010年推計では80億人、2012年推計では82.5億人と、2.5億人の差があり、2100年時点の人口は、2010年推計では87.9億人2012年推計では95.7億人で、7.8億人の差がある。

なお、既往人口にも若干の修正がくわえられており、1950年時点の人口は2000年から

図11 推計実施年別にみた世界人口（中位推計）の比較

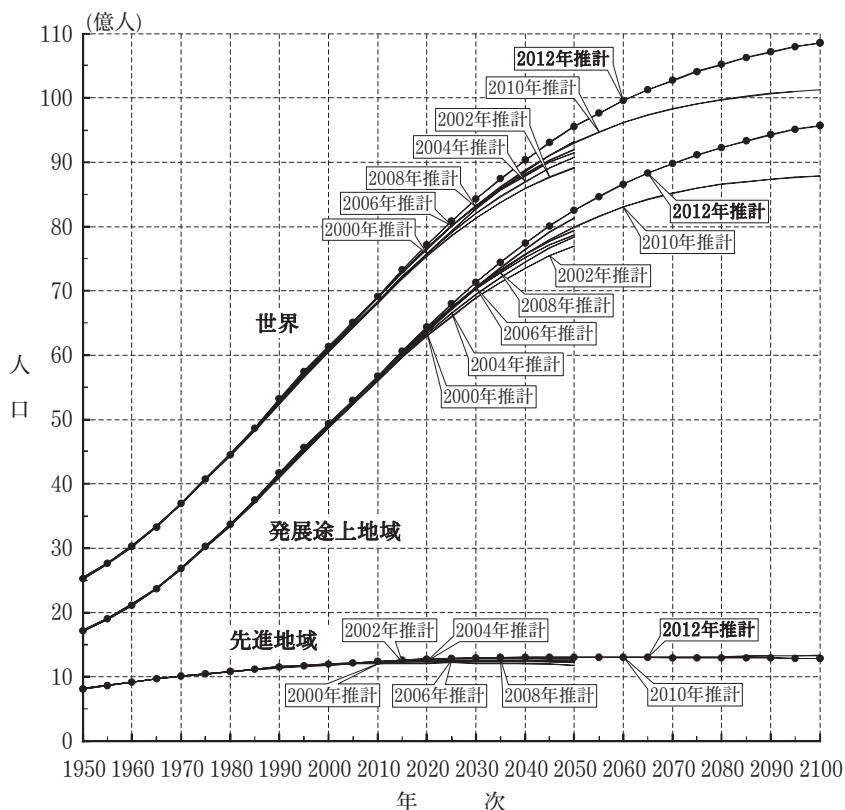


表15 推計実施年別にみた世界人口（中位推計）の比較

（百万人）

年次	1990年推計	1992年推計	1994年推計	1996年推計	1998年推計	2000年推計	2002年推計	2004年推計	2006年推計	2008年推計	2010年推計	2012年推計
世界	2,516	2,516	2,520	2,524	2,521	2,519	2,519	2,519	2,535	2,529	2,532	2,526
1955	2,752	2,752	2,754	2,759	2,755	2,755	2,756	2,757	2,771	2,763	2,773	2,762
1960	3,020	3,019	3,021	3,027	3,022	3,020	3,021	3,024	3,032	3,023	3,038	3,026
1965	3,336	3,336	3,338	3,343	3,337	3,334	3,335	3,338	3,343	3,332	3,333	3,329
1970	3,698	3,697	3,697	3,702	3,696	3,691	3,692	3,697	3,699	3,686	3,696	3,691
1975	4,079	4,078	4,077	4,081	4,075	4,066	4,068	4,074	4,076	4,061	4,076	4,071
1980	4,448	4,447	4,444	4,447	4,440	4,430	4,435	4,442	4,451	4,438	4,453	4,449
1985	4,851	4,855	4,846	4,847	4,837	4,825	4,831	4,844	4,855	4,846	4,863	4,864
1990	5,292	5,295	5,285	5,282	5,266	5,255	5,264	5,280	5,295	5,290	5,306	5,321
1995	5,770	5,759	5,716	5,687	5,666	5,662	5,674	5,692	5,719	5,713	5,726	5,742
2000	6,261	6,228	6,158	6,091	6,055	6,057	6,071	6,086	6,124	6,115	6,123	6,128
2005	6,739	6,688	6,594	6,491	6,429	6,441	6,454	6,465	6,515	6,512	6,507	6,514
2010	7,204	7,150	7,032	6,891	6,795	6,826	6,830	6,843	6,907	6,909	6,896	6,916
2015	7,660	7,609	7,469	7,286	7,154	7,207	7,197	7,219	7,295	7,302	7,284	7,325
2020	8,092	8,050	7,888	7,672	7,502	7,579	7,540	7,578	7,667	7,675	7,657	7,717
2025	8,504	8,472	8,294	8,039	7,824	7,937	7,851	7,905	8,011	8,012	8,003	8,083
2030			8,671	8,372	8,112	8,270	8,130	8,199	8,318	8,309	8,321	8,425
2035			9,014	8,669	8,363	8,576	8,378	8,463	8,587	8,571	8,612	8,743
2040			9,318	8,930	8,577	8,855	8,594	8,701	8,824	8,801	8,874	9,039
2045			9,587	9,159	8,758	9,105	8,774	8,907	9,026	8,996	9,106	9,308
2050			9,833	9,367	8,909	9,322	8,919	9,076	9,191	9,150	9,306	9,551
∴											∴	∴
2100											10,125	10,854
先進地域 ¹⁾												
1950	832	832	809	813	813	814	813	813	814	812	811	813
1955	887	887	859	863	863	864	863	863	864	863	862	863
1960	945	945	911	916	916	916	915	915	916	915	913	915
1965	1,003	1,003	962	968	968	967	966	967	967	966	964	966
1970	1,049	1,049	1,003	1,008	1,008	1,008	1,007	1,008	1,008	1,007	1,006	1,008
1975	1,095	1,095	1,044	1,048	1,048	1,048	1,047	1,047	1,048	1,047	1,046	1,048
1980	1,137	1,136	1,080	1,083	1,083	1,083	1,083	1,083	1,083	1,082	1,081	1,083
1985	1,174	1,173	1,111	1,114	1,114	1,115	1,115	1,115	1,115	1,114	1,113	1,116
1990	1,207	1,211	1,143	1,148	1,148	1,148	1,149	1,149	1,149	1,147	1,144	1,148
1995	1,236	1,244	1,167	1,171	1,172	1,174	1,174	1,174	1,175	1,175	1,169	1,173
2000	1,264	1,278	1,186	1,187	1,188	1,191	1,194	1,193	1,194	1,195	1,189	1,193
2005	1,289	1,310	1,200	1,197	1,200	1,201	1,209	1,211	1,216	1,217	1,211	1,215
2010	1,310	1,341	1,213	1,206	1,208	1,208	1,221	1,226	1,232	1,237	1,236	1,241
2015	1,327	1,366	1,224	1,214	1,214	1,214	1,230	1,237	1,245	1,255	1,256	1,260
2020	1,342	1,387	1,232	1,219	1,217	1,218	1,237	1,244	1,254	1,268	1,273	1,275
2025	1,354	1,403	1,238	1,220	1,215	1,219	1,241	1,249	1,259	1,277	1,287	1,286
2030			1,236	1,212	1,210	1,217	1,242	1,251	1,261	1,282	1,296	1,294
2035			1,231	1,201	1,200	1,211	1,240	1,250	1,260	1,283	1,302	1,299
2040			1,224	1,189	1,188	1,202	1,235	1,247	1,257	1,282	1,307	1,301
2045			1,215	1,175	1,172	1,192	1,228	1,242	1,252	1,280	1,310	1,303
2050			1,208	1,162	1,155	1,181	1,220	1,236	1,245	1,275	1,312	1,303
∴											∴	∴
2100											1,335	1,284
発展途上地域 ²⁾												
1950	1,684	1,684	1,711	1,711	1,709	1,706	1,706	1,707	1,722	1,717	1,721	1,713
1955	1,865	1,864	1,896	1,895	1,892	1,891	1,893	1,894	1,907	1,901	1,911	1,898
1960	2,075	2,074	2,111	2,111	2,106	2,104	2,106	2,109	2,116	2,109	2,125	2,111
1965	2,333	2,333	2,376	2,375	2,370	2,366	2,368	2,371	2,376	2,366	2,369	2,363
1970	2,649	2,648	2,695	2,694	2,688	2,683	2,685	2,689	2,690	2,678	2,690	2,683
1975	2,984	2,983	3,033	3,033	3,026	3,017	3,021	3,027	3,028	3,014	3,030	3,023
1980	3,312	3,310	3,364	3,365	3,358	3,347	3,352	3,360	3,368	3,356	3,372	3,366
1985	3,677	3,682	3,736	3,733	3,723	3,710	3,716	3,729	3,740	3,733	3,750	3,748
1990	4,086	4,084	4,141	4,134	4,118	4,106	4,115	4,131	4,146	4,143	4,162	4,173
1995	4,534	4,515	4,550	4,516	4,495	4,488	4,500	4,518	4,544	4,538	4,557	4,568
2000	4,997	4,950	4,973	4,904	4,867	4,865	4,877	4,892	4,930	4,920	4,934	4,934
2005	5,451	5,378	5,394	5,293	5,230	5,240	5,245	5,253	5,299	5,296	5,296	5,299
2010	5,895	5,809	5,819	5,684	5,586	5,617	5,609	5,617	5,674	5,671	5,660	5,675
2015	6,332	6,243	6,245	6,072	5,940	5,994	5,967	5,983	6,050	6,047	6,028	6,065
2020	6,750	6,663	6,656	6,453	6,285	6,362	6,303	6,333	6,413	6,406	6,383	6,442
2025	7,150	7,069	7,056	6,819	6,609	6,718	6,610	6,656	6,752	6,734	6,716	6,797
2030			7,434	7,159	6,902	7,054	6,888	6,948	7,057	7,027	7,025	7,131
2035			7,783	7,468	7,163	7,365	7,138	7,213	7,327	7,288	7,309	7,445
2040			8,095	7,741	7,389	7,652	7,358	7,454	7,567	7,519	7,567	7,737
2045			8,372	7,984	7,585	7,913	7,546	7,665	7,774	7,717	7,796	8,006
2050			8,626	8,205	7,754	8,141	7,699	7,840	7,946	7,875	7,994	8,248
∴											∴	∴
2100											8,790	9,570

1) ヨーロッパ、北部アメリカ、日本、オーストラリアおよびニュージーランドからなる地域、2) 先進地域以外の地域。

2004年推計では25.2億人であったが、2006年以降は推計ごとに値が異なり、2012年推計では25.3億人となっている。2010年時点の人口は、2000年推計における68.3億人から微増傾向にあるが、前回2010年推計では69億人、今回2012年推計では69.2億人に補正されている。

世界人口が100億人を超える時期は、前回推計では2085年ごろとなっているが、2012年推計では2062年となっている。

IV. 日本の将来推計人口

1. 国別にみた日本の位置づけ

(1) 人口総数と増加率

2012年国連推計における日本の人口総数をみると（表16）、1950年の人口は8220万人で中国、インド、アメリカ合衆国、ロシア連邦に続く第5位であったが、2010年には1億2735万人と第10位になり、人口は増加しているものの相対的な順位は徐々に低下してきた。1950年から現在までに日本の順位が下がった原因は、戦後直後の人口規模が日本と同等であった国のうち、インドネシア、ブラジル、パキスタン、ナイジェリア、バングラディッシュといった相対的に高い人口増加率を示してきた国々が日本の人口を上回ったことによる。そして、人口が減少を始めた日本は今後さらに順位を下げ、2050年に16位、2100年には29位になるとみられている。

今回の国連推計では、日本の人口増加率は2010～15年以降マイナスに転じ、その後も減少が続くと予測されている。推計によると今後世界全体の人口増加率が鈍化し、長期的にはゼロ成長に近づくと言われているが、日本では2010～15年に -0.08% （同年の世界全体 $+1.15\%$ ）、2050～55年に -0.55% （ $+0.51\%$ ）と158か国（2010年人口が100万人以上の国）のうち下から17番目の増加率で人口が減り、2095～100年でも -0.34% （ $+0.11\%$ ）と減少が続く（表17）。

(2) 65歳以上人口割合と従属人口指数

日本の65歳以上人口割合は、1950年時点で4.95%であり、58位であった（表18）。そして、日本の高齢化は急速に進み、2010年に23.0%に達し、この水準は高齢化が先行していたヨーロッパ諸国を抜いて1位になった（図12）。同割合は今後もしばらく上昇を続け、2055年に37.0%でピークを迎える。ちなみに2055年以降は日本を上回る国が出てくるとみられており、2100年には5位になる。

他方、従属人口指数についてみると、1950年に日本は67.6であり順位は104位であったが、1965年には47.2まで低下し世界順位で最下位（158位）となる（表19）。その後も日本の従属人口指数は低い状態が続き、1990年には43.4で最も低い水準に達する。しかし、その後は上昇に転じ2010年に56.9（70位）になった。そして、今後もしばらく上昇が続くと見通されており、2025年に72.6、2050年に96.4となり世界で最も従属人口指数が高い国になる。推計結果によると、2055～60年に98.6と最も高い水準に到達するが、その後も年齢構造は大

表16 人口の多い国：2012年推計（中位）

(1,000人)

順位	1950年		2010年		2050年		2100年	
	国名	総人口	国名	総人口	国名	総人口	国名	総人口
1	中国	543,776	中国	1,359,821	インド	1,620,051	インド	1,546,833
2	インド	376,325	インド	1,205,625	中国	1,384,977	中国	1,085,631
3	アメリカ合衆国	157,813	アメリカ合衆国	312,247	ナイジェリア	440,355	ナイジェリア	913,834
4	ロシア連邦	102,799	インドネシア	240,676	アメリカ合衆国	400,853	アメリカ合衆国	462,070
5	日本	82,199	ブラジル	195,210	インドネシア	321,377	インドネシア	315,296
6	インドネシア	72,592	パキスタン	173,149	パキスタン	271,082	タンザニア	275,624
7	ドイツ	70,094	ナイジェリア	159,708	ブラジル	231,120	パキスタン	263,320
8	ブラジル	53,975	バングラデシュ	151,125	バングラデシュ	201,948	コンゴ民主共和国	262,134
9	イギリス	50,616	ロシア連邦	143,618	エチオピア	187,573	エチオピア	243,416
10	イタリア	46,367	日本	127,353	フィリピン	157,118	ウガンダ	204,596
11	フランス	41,832	メキシコ	117,886	メキシコ	156,102	ニジェール	203,781
12	バングラデシュ	37,895	フィリピン	93,444	コンゴ民主共和国	155,291	ブラジル	194,533
13	ナイジェリア	37,860	ベトナム	89,047	タンザニア	129,417	フィリピン	187,702
14	パキスタン	37,542	エチオピア	87,095	エジプト	121,798	バングラデシュ	182,238
15	ウクライナ	37,298	ドイツ	83,017	ロシア連邦	120,896	ケニア	160,423
16	メキシコ	28,296	エジプト	78,076	日本	108,329	メキシコ	139,795
17	スペイン	28,070	イラン	74,462	ウガンダ	104,078	エジプト	135,200
18	ベトナム	24,949	トルコ	72,138	ベトナム	103,697	ザンビア	124,302
19	ポーランド	24,824	タイ	66,402	イラン	100,598	スーダン	116,141
20	エジプト	21,514	フランス	63,231	ケニア	97,173	モザンビーク	112,018
21	トルコ	21,238	コンゴ民主共和国	62,191	トルコ	94,606	イラク	106,319
22	タイ	20,607	イギリス	62,066	スーダン	77,138	マダガスカル	105,128
23	韓国	19,211	イタリア	60,509	フランス	73,212	ロシア連邦	101,882
24	フィリピン	18,580	ミャンマー	51,931	イギリス	73,131	マリ	100,751
25	エチオピア	18,128	南アフリカ	51,452	ドイツ	72,566	アンゴラ	97,337
26	ミャンマー	17,527	韓国	48,454	イラク	71,336	イラン	94,324
27	アルゼンチン	17,150	コロンビア	46,445	ニジェール	69,410	トルコ	86,465
28	イラン	17,119	スペイン	46,182	南アフリカ	63,405	マラウイ	84,986
29	ルーマニア	16,236	ウクライナ	46,050	コロンビア	62,942	日本	84,471
30	カナダ	13,737	タンザニア	44,973	タイ	61,740	カメルーン	82,393
31	南アフリカ	13,683	ケニア	40,909	イタリア	60,015	ベトナム	80,122
32	コンゴ民主共和国	12,184	アルゼンチン	40,374	モザンビーク	59,929	フランス	79,059
33	コロンビア	12,000	ポーランド	38,199	ミャンマー	58,645	イギリス	77,175
34	北朝鮮	10,549	アルジェリア	37,063	アフガニスタン	56,551	コートジボワール	76,180
35	オランダ	10,027	スーダン	35,652	マダガスカル	55,498	ブルキナファソ	75,274
36	ハンガリー	9,338	カナダ	34,126	アルジェリア	54,522	南アフリカ	64,135
37	モロッコ	8,986	ウガンダ	33,987	アンゴラ	54,324	チャド	63,286
38	チェコ共和国	8,876	モロッコ	31,642	韓国	51,034	コロンビア	60,223
39	アルジェリア	8,872	イラク	30,962	アルゼンチン	51,024	アフガニスタン	59,249
40	ベルギー	8,628	ペルー	29,263	カメルーン	48,599	セネガル	58,180
41	ポルトガル	8,417	ベネズエラ	29,043	スペイン	48,224	ガーナ	57,210
42	オーストラリア	8,177	アフガニスタン	28,398	ガーナ	45,670	ドイツ	56,902
43	ネパール	8,140	マレーシア	28,276	カナダ	45,228	ブルンジ	56,285
44	スリランカ	8,076	ウズベキスタン	27,769	マリ	45,168	アルジェリア	54,887
45	ベラルーシ	7,745	サウジアラビア	27,258	ザンビア	44,206	イタリア	54,598
46	タンザニア	7,650	ネパール	26,846	モロッコ	42,884	ソマリア	53,966
47	ペルー	7,632	北朝鮮	24,501	イエメン	42,497	カナダ	50,882
48	ギリシャ	7,566	ガーナ	24,263	ベネズエラ	42,376	アルゼンチン	50,436
49	(台湾)	7,562	モザンビーク	23,967	コートジボワール	42,339	ミャンマー	47,413
50	アフガニスタン	7,451	(台湾)	23,146	マレーシア	42,113	グアテマラ	46,462

UN, World Population Prospects: The 2012 Revision (中位推計) に掲載されている233か国のうちの順位。

表17 人口増加率の高い国と低い国：2012年推計（中位）

（年平均：％）

順位	1950～55年		2010～15年		2050～55年		2095～2100年	
	国名	増加率	国名	増加率	国名	増加率	国名	増加率
1	ヨルダン	7.27	オマーン	7.89	ニジェール	3.04	ザンビア	1.59
2	カタール	7.20	カタール	5.90	ザンビア	2.57	ニジェール	1.34
3	イスラエル	6.24	南スーダン	4.02	マザンビア	2.33	タンザニア	0.96
4	クウェート	4.93	ニジェール	3.85	タンザニア	2.10	マラウイ	0.94
5	シンガポール	4.90	クウェート	3.61	ブルンジ	2.07	マザンビア	0.93
6	ホンコン ¹⁾	4.65	ヨルダン	3.50	ナイジェリア	2.07	ブルンジ	0.93
7	ベネズエラ	4.03	ウガンダ	3.33	ウガンダ	2.04	コンゴ	0.89
8	フィリピン	3.54	ザンビア	3.21	ソマリア	2.01	ナイジェリア	0.87
9	ドミニカ共和国	3.22	エリトリア	3.20	マラウイ	2.00	ソマリア	0.80
10	台湾	3.15	ガンビア	3.18	チャド	1.96	マダガスカル	0.78
11	コスタリカ	3.12	ブルンジ	3.16	コンゴ	1.93	ウガンダ	0.74
12	モロッコ	3.12	アンゴラ	3.09	モザンビーク	1.87	コートジボワール	0.71
13	ジンバブエ	3.08	レバノン	3.04	マダガスカル	1.84	モザンビーク	0.68
14	ブラジル	3.06	タンザニア	3.02	ガンビア	1.83	ブルキナファソ	0.68
15	ニカラグア	3.05	マザンビア	3.01	アンゴラ	1.82	チャド	0.66
16	メキシコ	3.02	チャド	2.98	ブルキナファソ	1.80	セネガル	0.65
17	タジキスタン	2.95	セネガル	2.90	セネガル	1.68	トーゴ	0.59
18	モーリシャス	2.92	イラク	2.89	コンゴ民主共和国	1.65	アンゴラ	0.58
19	バーレーン	2.90	ソマリア	2.87	コートジボワール	1.64	リベリア	0.56
20	ルワンダ	2.89	マラウイ	2.85	カメルーン	1.61	カメルーン	0.56
21	アルメニア	2.89	ブルキナファソ	2.84	リベリア	1.59	東ティモール	0.53
22	ホンジュラス	2.87	ジンバブエ	2.81	ケニア	1.56	ギニアビサウ	0.52
23	コロンビア	2.84	マダガスカル	2.79	トーゴ	1.55	コンゴ民主共和国	0.51
24	グアテマラ	2.80	ナイジェリア	2.78	南スーダン	1.49	ケニア	0.49
25	ウズベキスタン	2.78	ルワンダ	2.74	エリトリア	1.43	モーリタニア	0.46
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
112 47	日本	1.45	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
113 46	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	日本	-0.34
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
134 25	チェコ共和国	0.96	イタリア	0.21	グルジア	-0.42	アゼルバイジャン	-0.42
135 24	シエラレオネ	0.93	アルメニア	0.18	リトアニア	-0.44	リベリア	-0.43
136 23	マダガスカル	0.87	スロバキア	0.09	スロバキア	-0.47	イエメン	-0.43
137 22	スロベニア	0.79	マケドニア ²⁾	0.07	ポルトガル	-0.50	ルーマニア	-0.44
138 21	デンマーク	0.79	ポルトガル	0.04	中国	-0.51	コスタリカ	-0.45
139 20	ブルガリア	0.79	ギリシャ	0.03	ロシア連邦	-0.51	モルドバ共和国	-0.45
140 19	イタリア	0.75	ポーランド	0.01	ポーランド	-0.51	ブラジル	-0.45
141 18	フランス	0.72	キューバ	-0.06	アルバニア	-0.54	アルメニア	-0.47
142 17	スペイン	0.72	日本	-0.08	日本	-0.54	ジャマイカ	-0.48
143 16	スウェーデン	0.70	ドイツ	-0.11	ジャマイカ	-0.55	バーレーン	-0.48
144 15	クロアチア	0.67	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-0.14	アルメニア	-0.57	トリニダード・トバゴ	-0.49
145 14	ラトビア	0.67	プエルトリコ	-0.16	ドイツ	-0.59	アルバニア	-0.49
146 13	ポルトガル	0.57	ハンガリー	-0.21	クロアチア	-0.60	プエルトリコ	-0.50
147 12	ベルギー	0.55	ロシア連邦	-0.21	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-0.62	ボスニア・ヘルツェゴビナ	-0.51
148 11	イエメン	0.54	ルーマニア	-0.26	マケドニア ²⁾	-0.63	アラブ首長国連邦	-0.51
149 10	リトアニア	0.48	エストニア	-0.28	ベラルーシ	-0.75	ポルトガル	-0.52
150 9	ドイツ	0.44	クロアチア	-0.39	タイ	-0.77	マケドニア ²⁾	-0.52
151 8	ベナン	0.42	グルジア	-0.39	ルーマニア	-0.77	ベトナム	-0.52
152 7	ガボン	0.38	リトアニア	-0.46	台湾	-0.79	レバノン	-0.54
153 6	プエルトリコ	0.26	セルビア	-0.47	ウクライナ	-0.86	カタール	-0.56
154 5	イギリス	0.22	ベラルーシ	-0.49	トリニダード・トバゴ	-0.89	台湾	-0.59
155 4	ベラルーシ	0.15	ラトビア	-0.57	モルドバ共和国	-0.91	シンガポール	-0.67
156 3	オーストリア	0.06	ウクライナ	-0.62	ブルガリア	-1.04	タイ	-0.72
157 2	アイルランド	-0.08	ブルガリア	-0.76	キューバ	-1.13	セルビア	-0.73
158 1	北朝鮮	-0.90	モルドバ共和国	-0.78	セルビア	-1.13	キューバ	-0.79

UN, *World Population Prospects: The 2012 Revision*（中位推計）に掲載されている233か国のうち2010年人口が100万人以上の国（158か国）についての順位。

1) 特別行政区。2) マケドニア旧ユーゴスラビア共和国。

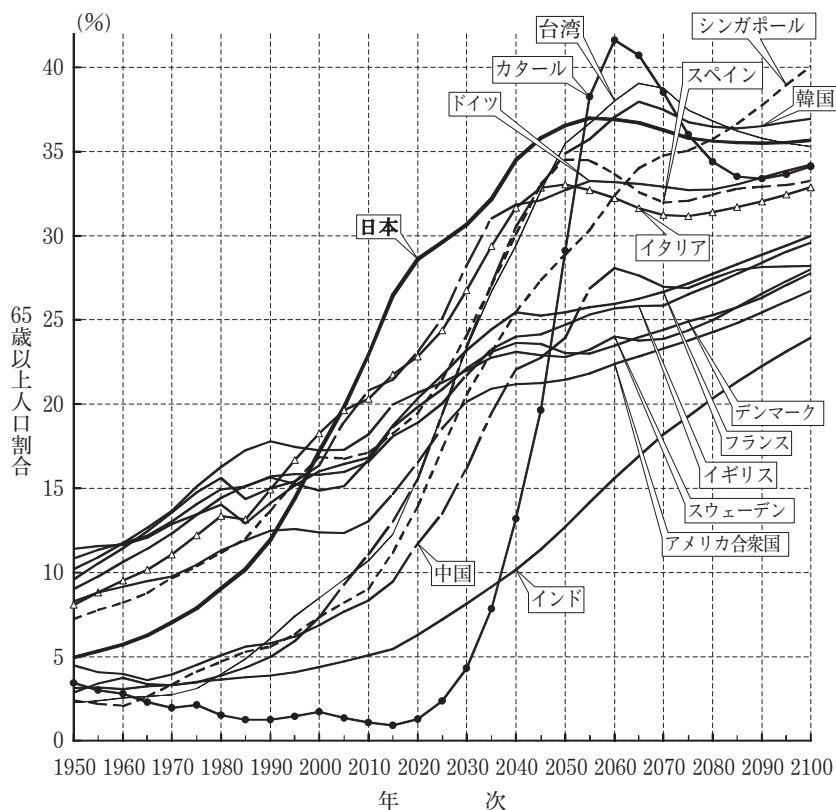
表18 65歳以上人口割合の高い国：2012年推計（中位）

(%)

順位	1950年		2010年		2050年		2100年	
	国名	割合	国名	割合	国名	割合	国名	割合
1	フランス	11.39	日本	22.96	日本	36.55	シンガポール	40.06
2	ラトビア	11.18	ドイツ	20.81	ホンコン ¹⁾	35.54	ホンコン ¹⁾	37.03
3	ベルギー	11.01	イタリア	20.29	台湾	35.45	韓国	36.95
4	アイルランド	10.97	ギリシャ	18.99	韓国	34.88	キューバ	36.47
5	イギリス	10.83	ラトビア	18.37	スペイン	34.53	日本	35.66
6	エストニア	10.60	ブルガリア	18.34	ポルトガル	34.42	ポルトガル	35.39
7	オーストリア	10.31	スウェーデン	18.20	キューバ	34.36	台湾	35.28
8	スウェーデン	10.19	ポルトガル	18.01	イタリア	33.03	レバノン	35.17
9	ゲルジア	10.10	オーストリア	17.83	ドイツ	32.72	アラブ首長国連邦	34.57
10	スリランカ	9.97	クロアチア	17.54	ギリシャ	32.07	アルバニア	34.31
11	ドイツ	9.57	エストニア	17.48	スロベニア	30.44	コスタリカ	34.25
12	ノルウェー	9.57	ベルギー	17.16	タイ	30.36	ドイツ	34.22
13	スイス	9.44	フィンランド	17.13	クロアチア	29.21	カタール	34.11
14	リトアニア	9.42	スペイン	17.10	カタール	29.11	メキシコ	33.61
15	デンマーク	9.03	スイス	16.91	ポーランド	29.08	スペイン	33.26
16	ニュージーランド	8.96	フランス	16.80	シンガポール	28.89	タイ	33.17
17	ベラルーシ	8.61	ハンガリー	16.72	ブルガリア	28.58	チリ	33.12
18	アルメニア	8.34	デンマーク	16.66	セルビア	28.35	イタリア	32.89
19	アメリカ合衆国	8.26	スロベニア	16.66	ルーマニア	28.25	プエルトリコ	32.85
20	チェコ共和国	8.25	イギリス	16.59	スロバキア	27.68	ブラジル	32.57
...
58	日本	4.95

UN, *World Population Prospects: The 2012 Revision* (中位推計) に年齢別人口が掲載されている201か国のうち2010年人口が100万人以上の国 (158か国) についての順位。

図12 主要国の65歳以上人口割合：2012年推計（中位）



きく変化しないことから、世界における日本の順位は高い状態が2100年まで続く。ちなみに、2100年時点で従属人口指数が日本を抜いて最も高くなる国・地域が、シンガポール、韓国、香港、キューバであることは興味深い。

表19 従属人口指数（総数）の高い国：2012年推計（中位）

順位	1950年		2010年		2050年		2100年	
	国名	指数	国名	指数	国名	指数	国名	指数
1	ヨルダン	102.22	ニジェール	110.12	日本	96.38	シンガポール	102.90
2	ニジェール	101.61	チャド	105.53	スベイン	93.77	韓国	101.26
3	パレスチナ	101.06	ウガンダ	105.36	イタリヤ	88.48	ホンコン ¹⁾	99.51
4	パラグアイ	99.62	アフガニスタン	103.12	ニジェール	88.42	キューバ	97.67
5	マラウイ	95.17	ソマリア	102.08	ホンコン ¹⁾	88.37	日本	97.01
6	エリトリア	94.07	東ティモール	101.67	韓国	88.23	台湾	95.66
7	ドミニカ共和国	93.25	アンゴラ	100.92	台湾	87.15	ポルトガル	94.92
8	タンザニア	92.90	マリ	98.80	ポルトガル	86.71	レバノン	94.86
9	スリランカ	92.86	ザンビア	98.28	ギリシャ	86.01	アルバニア	94.63
10	モーリシャス	92.76	マラウイ	95.64	キューバ	84.03	コスタリカ	91.77
11	ザンビア	91.73	モザンビーク	94.47	ドイツ	82.95	ドイツ	90.93
12	ガーナ	90.76	ガンビア	94.17	スロベニア	81.37	メキシコ	90.19
13	コンゴ民主共和国	90.36	ブルキナファソ	94.09	ザンビア	77.05	チリ	89.89
14	フィリピン	89.33	コンゴ民主共和国	93.41	ブルガリア	76.69	イタリヤ	89.67
15	グアテマラ	89.11	タンザニア	92.14	クロアチア	75.50	スペイン	89.52
16	南スーダン	89.03	エチオピア	91.33	マラリ	75.47	タイ	88.67
17	エチオピア	89.01	ルワンダ	88.60	ポーランド	75.33	プエルトリコ	87.66
18	プエルトリコ	88.99	ナイジェリア	87.80	ベルギー	75.12	アラブ首長国連邦	86.99
19	スーダン	88.93	セネガル	87.72	タイ	74.95	カタール	86.93
20	エルサルバドル	87.55	カメルーン	87.47	オランダ	74.64	ブラジル	86.92
∴	∴	∴	∴	∴				
70	∴	∴	日本	56.86				
104	日本	67.57						

UN, *World Population Prospects: The 2012 Revision*（中位推計）に年齢別人口が掲載されている201か国のうち2010年人口が100万人以上の国（158か国）についての順位。従属人口指数（総数）とは、年少（従属）人口指数と老年（従属）人口指数の和である。1) 特別行政区。

2. 日本人口に関する国連推計と社人研推計の比較

国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）では5年ごとに国勢調査による人口を基準として将来人口推計を行っている。国連推計は、この社人研推計と推計目的や方法が異なる。両者の各仮定値および推計結果の相違を整理し、比較することは重要な参考資料となるであろう。なお、国連推計の仮定値は出生率のみ中位、高位、低位の3種類であるが、社人研のそれは出生率、死亡率ともに3種類のバリエーションを設定している。そこで、国連推計は中位推計、社人研推計は出生中位・死亡中位についての比較を行う。

まず人口総数について比較すると、国連推計は社人研推計に比べ2050年で1125万人、2100年では3488万人多くなっている（表20）。年齢3区分の人口割合をみると、国連推計における0～14歳人口割合は社人研推計よりも高く、逆に65歳以上人口割合は低い。両者にみられる結果の違いは、主に出生仮定の違いによるところが大きい（表21、図13(1)）。国連推計の中位仮定は、将来の合計特殊出生率は上昇を続け2100年には1.85に達するとしている。女性の年齢別出生率の推移をみると、国連推計では30歳代の出生率が急速に上昇

表20 日本人口の国連推計と社人研推計の比較

(人口：1,000人)

年次	国連2012年推計						社人研推計 ^{*)} (出生中位・死亡中位)					
	中位				高位	低位	人口総数	人口割合(%)				
	人口総数	人口割合(%)			人口総数	人口総数		0~14歳	15~64歳	65歳以上		
2010	127,353	13.3	63.8	23.0	127,353	127,353	128,057	13.1	63.8	23.0		
2015	126,818	12.9	60.7	26.4	127,759	125,877	126,597	12.5	60.7	26.8		
2020	125,382	12.6	58.8	28.6	127,695	123,069	124,100	11.7	59.2	29.1		
2025	123,256	12.4	57.9	29.6	127,153	119,360	120,659	11.0	58.7	30.3		
2030	120,625	12.2	57.1	30.7	126,020	115,234	116,618	10.3	58.1	31.6		
2035	117,663	12.1	55.7	32.2	124,538	110,818	112,124	10.1	56.6	33.4		
2040	114,517	12.2	53.3	34.5	122,988	106,182	107,276	10.0	53.9	36.1		
2045	111,359	12.4	51.8	35.8	121,789	101,353	102,210	9.9	52.4	37.7		
2050	108,329	12.5	50.9	36.5	121,195	96,408	97,076	9.7	51.5	38.8		
2055	105,427	12.7	50.4	37.0	121,036	91,436	91,933	9.4	51.2	39.4		
2060	102,507	12.8	50.4	36.9	120,957	86,412	86,737	9.1	50.9	39.9		
2065	99,485	12.9	50.4	36.7	120,792	81,305	81,355	9.0	50.6	40.4		
2070	96,464	13.0	50.7	36.3	120,714	76,204	75,904	9.1	50.3	40.6		
2075	93,653	13.3	50.9	35.8	121,086	71,267	70,689	9.2	50.0	40.8		
2080	91,260	13.4	50.9	35.6	122,236	66,668	65,875	9.2	49.6	41.2		
2085	89,237	13.6	50.9	35.5	124,092	62,368	61,434	9.1	49.6	41.3		
2090	87,478	13.6	50.9	35.5	126,408	58,317	57,269	9.0	49.8	41.2		
2095	85,916	13.6	50.9	35.5	128,985	54,510	53,322	9.0	49.9	41.1		
2100	84,471	13.6	50.8	35.7	131,696	50,913	49,591	9.0	49.9	41.1		

*) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』(2012年1月推計)。2065年以降は参考推計。

表21 日本の将来の人口動態率についての国連推計と社人研推計の比較

年次	国連2012年推計(中位)					社人研推計 ¹⁾				
	合計特殊 出生率	平均寿命(年)		出生率 (%)	死亡率 (%)	合計特殊 出生率	平均寿命(年)		出生率 (%)	死亡率 (%)
		男	女				男	女		
2010~15	1.41	80.03	86.87	8.4	9.8	1.38	79.64	86.39	8.1	9.8
2015~20	1.48	80.83	87.67	8.1	10.7	1.36	80.34	87.05	7.2	10.8
2020~25	1.54	81.59	88.43	7.8	11.7	1.33	80.93	87.65	6.6	12.0
2025~30	1.58	82.32	89.16	7.8	12.5	1.33	81.46	88.18	6.4	13.2
2030~35	1.63	83.01	89.86	7.8	13.2	1.34	81.95	88.68	6.4	14.2
2035~40	1.66	83.69	90.54	7.9	13.7	1.34	82.40	89.13	6.3	15.1
2040~45	1.69	84.35	91.19	8.0	14.0	1.35	82.82	89.55	6.1	15.8
2045~50	1.72	84.98	91.82	8.1	14.1	1.35	83.20	89.94	5.9	16.2
2050~55	1.74	85.60	92.44	8.1	14.0	1.35	83.55	90.29	5.7	16.5
2055~60	1.76	86.21	93.05	8.2	14.2	1.35	83.88	90.62	5.6	17.2
2060~65	1.78	86.81	93.65	8.3	14.6	1.35	84.19	90.93	5.6	18.3
2065~70	1.79	87.40	94.24	8.4	14.9					
2070~75	1.80	87.98	94.82	8.6	14.8					
2075~80	1.81	88.55	95.40	8.7	14.1					
2080~85	1.82	89.13	95.97	8.8	13.4					
2085~90	1.83	89.69	96.53	8.8	12.9					
2090~95	1.84	90.24	97.09	8.8	12.5					
2095~2100	1.85	90.79	97.64	8.8	12.2					

1) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口(2012年1月推計)』[出生中位・死亡中位]推計による各期間(各年)の平均値。

図13 日本の仮定値：国連2012年推計と社人研推計の比較

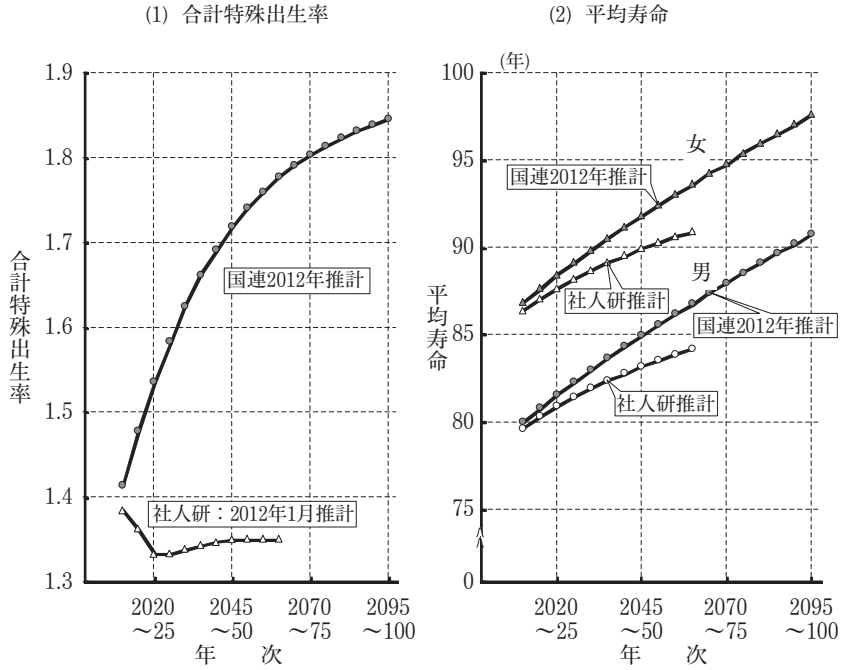
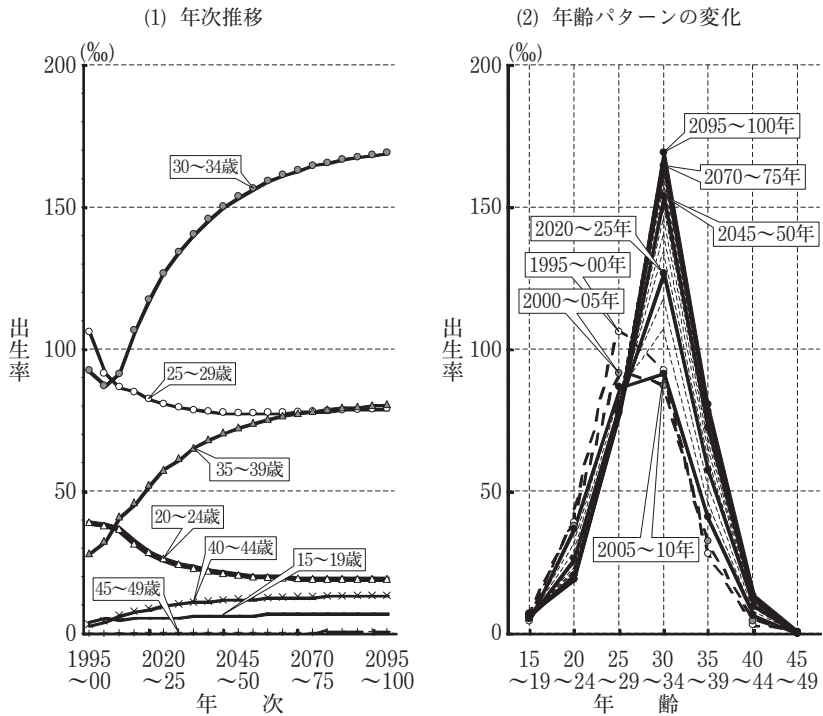


図14 国連2012年推計における日本の年齢別出生率仮定値



すると仮定している（図14）。現在、毎年の出生のうち20歳代が45%強、30歳代が約50%を占めているが、国連の出生仮定に従うと、20歳代の出生が25%強、30歳代が70%弱を占めることになる。

一方、平均寿命の仮定値については国連推計に比べ社人研推計が若干短く設定されている。国連推計は現在から2100年に向けて男女とも直線的に寿命が延びるという仮定であるのに対し、社人研推計は将来の上昇がやや鈍化する曲線を描いている（図13(2)）。

社人研推計では現状分析をもとにした仮定設定が行われているのに対して、国連推計では、日本を含むすべての国の出生率が長期的に人口置換水準に近づくという明確なシナリオが基になっている。そのため、両推計における日本の将来人口の動向は当然のことながら異なっている。重要なことは、推計の手法や前提が異なることによって、推計結果にどのような違いが生じるかを検証することであろう。また国連推計は、世界における日本の客観的な位置づけを考察することのできる希少な資料でもある。モニタリングを続けることの意義は小さくないと思われる。

参考文献

- Alkema L., A.E.Raftery, P.Gerland, S.J.Clark, F.Pelletier, T.Buettner, G.K.Heilig (2011) "Probabilistic Projections of the Total Fertility Rate for All Countries", *Demography*, vol.48, no. 3
- Raftery, A. E., J.E.Chunn, P.Gerland, and H.Sevcikova (2013) "Bayesian Probabilistic Projections of Life Expectancy for All Countries", *Demography*, vol.50, no. 3
- Raftery, A. E., L.Alkema, and Gerland (2013) "Bayesian Population Projections for the United Nations", *Statistical Science*. http://www.imstat.org/sts/future_papers.html.
- United Nations (2014) "Methodology of the United Nations Population Estimates and Projections, World Population Prospects The 2012 Revision".
- 石川晃, 坂東里江子, 中川聡史 (1993) 「国連世界人口推計の概要：1992年版（資料）」『人口問題研究』49巻1号, pp. 47-66.
- 石川晃・佐々井司 (1995) 「国連世界人口推計の概要：1994年版」『人口問題研究』51巻2号, pp. 57-81.
- 石川晃・佐々井司・別府志海 (2011) 「国連世界人口推計2010年版の概要」『人口問題研究』67巻3号, pp.13-50.
- 伊藤達也 (1976) 「世界の将来推計人口（1973年推計）」『人口問題研究』138号, pp. 52-56.
- 伊藤達也 (1986) 「国連1984年推計による世界および主要国の将来人口」『人口問題研究』180号, pp. 82-85.
- 国立社会保障・人口問題研究所 (1990) 「国連1990年推計による世界の将来人口」『人口問題研究』46巻2号, pp. 96-96.
- 国立社会保障・人口問題研究所 (2012) 『日本の将来推計人口—平成23（2011）～72（2060）年—（平成24年1月推計）』（人口問題研究資料第326号）。
- 佐藤龍三郎・石川晃 (2005) 「国連世界人口推計2004年版の概要」『人口問題研究』61巻1号, pp.41-85.
- 佐藤龍三郎・石川晃 (2007) 「国連世界人口推計2006年版の概要」『人口問題研究』63巻3号, pp.70-102.
- 佐藤龍三郎・石川晃・別府志海 (2009) 「国連世界人口推計2008年版の概要」『人口問題研究』65巻3号, pp.73-105.
- 渡邊吉利 (1989) 「国連による「世界の将来人口：1988年推計」の概要（統計）」『人口問題研究』45巻2号, pp.53-80.
- 渡邊吉利, 石川晃, 坂東里江子 (1991) 「世界人口推計の概要—国連推計〔1990年改定〕による—」（人口問題研究資料第267号）。
- 山口喜一 (1970) 「1968年世界（大陸・主要国別）人口」『人口問題研究』114号, pp.72-76.
- 山口喜一 (1984) 「国連1982年推計による世界の将来人口」『人口問題研究』170号, pp.87-88.